

〔経済状況に関する考察〕

経済的理由で生じた生活上の困難についての質問項目は、現在の日本社会において、「通常であれば可能な生活」を基準に設定している。「どれもあてはまらない」という回答は、その基準に達していることを示すものであるが、中央値以上の層で45.2%に対して、困窮度Ⅰの群では11.3%にすぎない。一方、困窮度が深刻化するにしたがい経済的理由から生活面での困難は増す傾向にあり、困窮度Ⅰの群は中央値以上と比べ、「電気・ガス・水道などが止められた」（4.7%対0.4%）、「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」（9.4%対0.6%）、「電話（固定・携帯）など通信料の支払いが滞ったことがある」（9.9%対0.7%）と回答した割合が高くなっており、生活面で大きな格差が存在する。また、困窮度Ⅰの群は中央値以上と比べ、「国民年金の支払いが滞ったことがある」（13.8%対0.9%）と回答した割合が高くなっており、子どもの親（保護者）の将来（老後）の生活困窮を示唆するデータであると言える。さらに、こういった経済状況は、親の心理的な面にも影響しており、困窮度Ⅰの群は中央値以上と比べ、「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」（36.7%対6.0%）と回答した割合が高くなっている。これらの結果から、経済的困難な家庭では、生活インフラへの支払いの滞りや年金支払いの義務が果たせなくなることに加え、将来への不安感が多いことが示唆される。

世帯の経済状況は、子どもの教育にも影響を及ぼしていることが確認できる。主な項目をあげると、困窮度Ⅰの群は中央値以上と比べ、「お子さんの進路を変更した」（5.3%対1.2%）、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」（23.2%対3.6%）、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」（19.4%対3.8%）と回答した割合が高くなっており、子どもに与える教育の格差が示されている。これらの結果から、経済状況によって、子どもの進路や学習環境、家族以外の社会的交流を行う機会が制限されることが示唆される。

同様に、学校以外での子どもの多様な「体験」の有無は、子どものヒューマンキャピタルの形成に影響を与えることが予想されるが、調査結果では、所得階群によって体験の機会に格差があることが示されている。具体的には、困窮度Ⅰの群は中央値以上と比べ、「家族旅行（日帰りのおでかけを含む）ができなかった」（39.9%対8.5%）といった経験に大きな差がある。その一方、「どれもあてはまらない」が、中央値以上の群では77.8%であり、困窮度Ⅰでも38.4%ある。所得階群によって体験の機会に差が見られるが、どの階群においても子どもに対して様々な体験や勉強の機会が提供できている世帯も多数いるという点がデータから読み取れる。

また、「子どものための貯蓄状況」という質問項目に対して、中央値以上は困窮度Ⅰの群と比べ、「している」と回答した割合が高くなっている（82.9%対35.4%）。また、困窮度Ⅰの群は中央値以上と比べ、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答した割合が高くなっており（63.2%対16.2%）、貯蓄の状況に大きな差があることが確認できる。これらの結果から、経済的困難な家庭では、貯蓄不足により、将来子どもに起こり得るリスク（病気や進路選択など）に備えることや、子どもに対しての投資が難しくなると予想される。

近年、子どもの貧困やヤングケアラーへの社会的関心が深まりつつあり、厚生労働省と文部科学省が連携して行った全国調査では、ヤングケアラーと思われる子どもは小学6年生で6.5%（令和3年度実施）、中学2年生で5.7%（令和2年度実施）と報告されている（『ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム報告（令和3年5月17日）』）。全国調査の結果より、回答した小学6年生の15人に1人程度、中学2年生の17人に1人程度が家族の世話をしていることが明らかになった。

全国状況を踏まえて、大阪市が令和5年に実施した、小学5年生、中学2年生を対象とする本調査では、「あなたが世話をしている人の有無」という質問に対して「いる」と答えている割合は、全体においては22.4%であるが、困窮度Ⅰの群は中央値以上と比べて「いる」と答えた割合が高くなっている（26.5%対20.3%）。これは、困窮度Ⅰでは、回答した4人に1人程度が、中央値以上では、5人に1人程度が世話をしている人が「いる」と回答していることになる。これらの結果から、大阪市ではヤングケアラーと思われる子どもの割合が高く、特に経済的困難な家庭ではその割合が高いことが読み取れる。

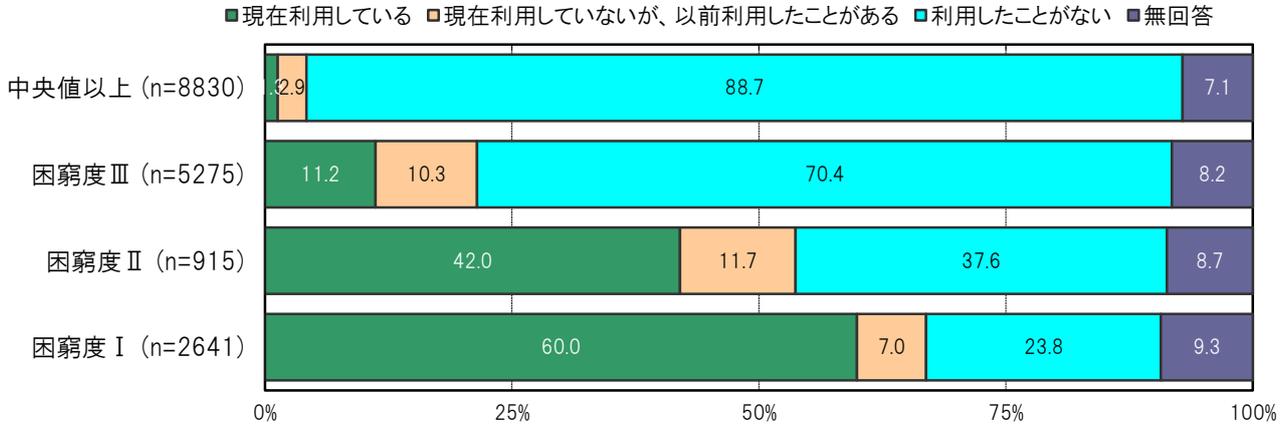
3-2. 家庭状況（制度等）

A-138. 困窮度別にみた支援制度の利用状況／就学援助 [保護者 問24a]

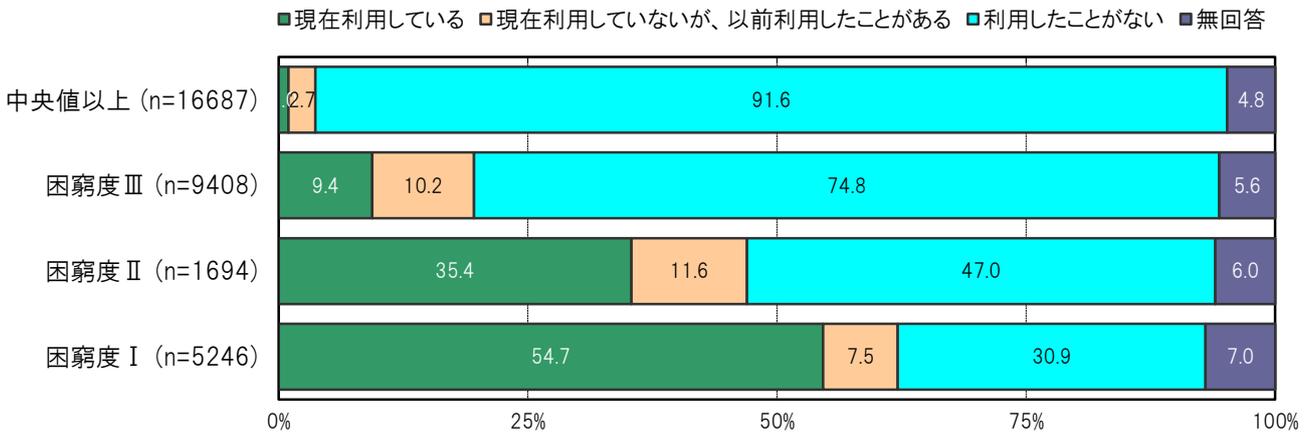
大阪市24区の困窮度Ⅰ群においては、「現在利用している」60.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」7.0%、「利用したことがない」23.8%となっている。

大阪市24区の中央値以上群においては、「現在利用している」1.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」2.9%、「利用したことがない」88.7%となっている。

〔大阪市24区／困窮度別〕



〔大阪府／困窮度別〕

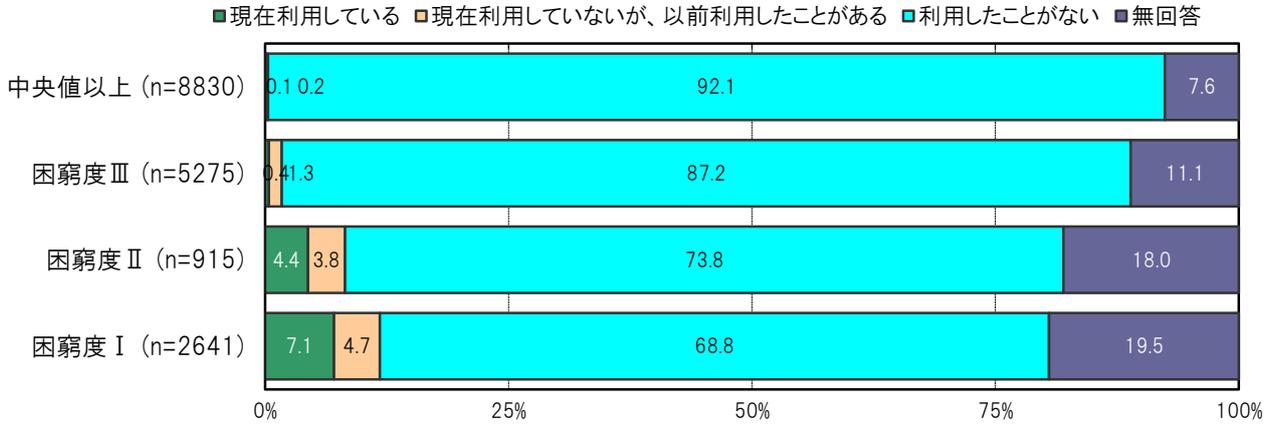


A-139. 困窮度別にみた支援制度の利用状況／生活保護 【保護者 問24b】

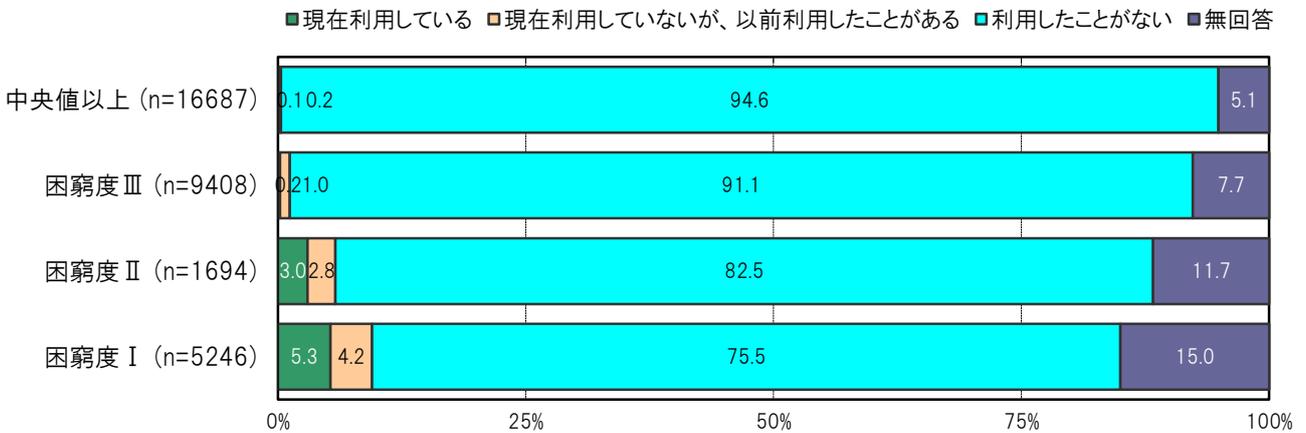
大阪市24区の困窮度Ⅰ群においては、「現在利用している」7.1%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」4.7%、「利用したことがない」68.8%となっている。

大阪市24区の中央値以上群においては、「現在利用している」0.1%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」0.2%、「利用したことがない」92.1%となっている。

【大阪市24区／困窮度別】



【大阪府／困窮度別】

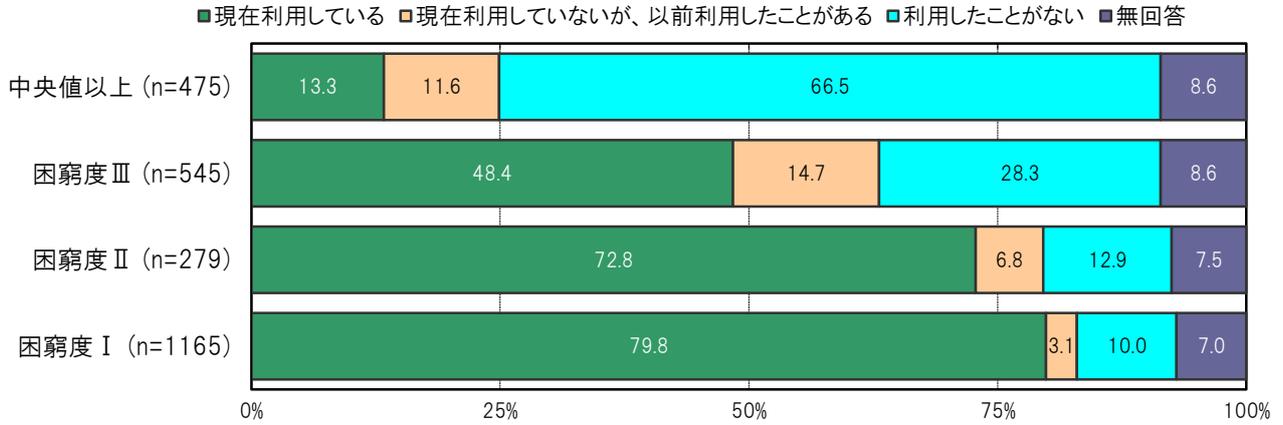


A-140. 困窮度別にみた支援制度の利用状況／児童扶養手当 [保護者 問24d]

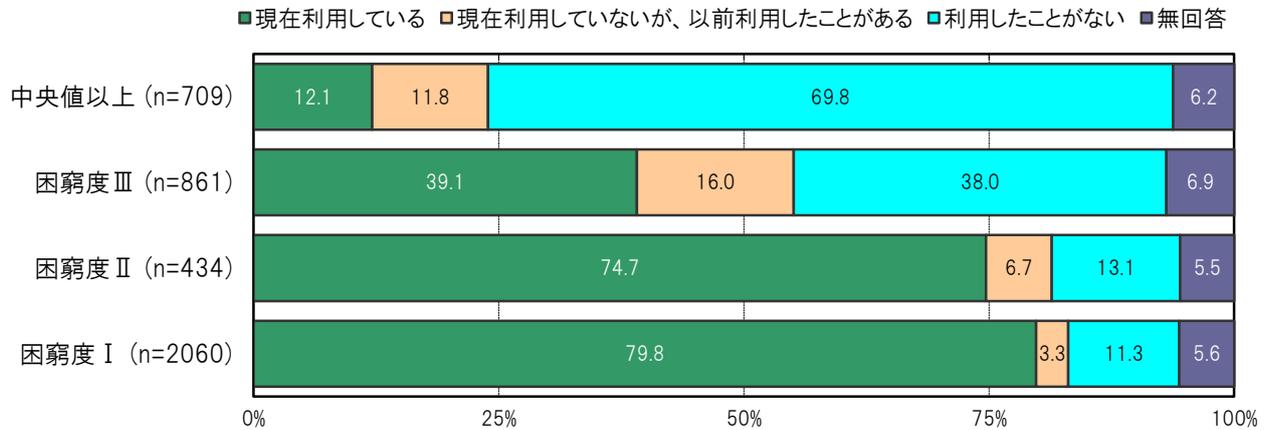
大阪市24区の困窮度Ⅰ群においては、「現在利用している」79.8%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」3.1%、「利用したことがない」10.0%となっている。

大阪市24区の中央値以上群においては、「現在利用している」13.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」11.6%、「利用したことがない」66.5%となっている。

〔大阪市24区／困窮度別〕



〔大阪府／困窮度別〕

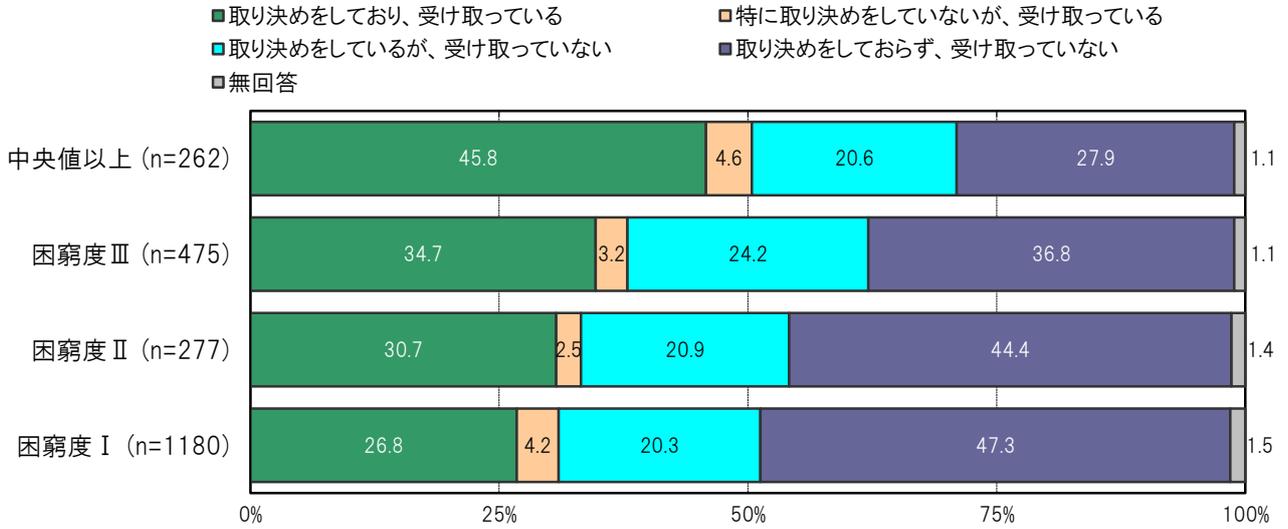


A-141. 困窮度別にみた離婚相手との養育費の状況 [保護者 問4] ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の困窮度Ⅰ群においては、「取り決めをしており、受け取っている」26.8%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」4.2%、「取り決めをしているが、受け取っていない」20.3%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」47.3%となっている。

大阪市24区の中央値以上群においては、「取り決めをしており、受け取っている」45.8%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」4.6%、「取り決めをしているが、受け取っていない」20.6%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」27.9%となっている。

〔大阪市24区／困窮度別〕

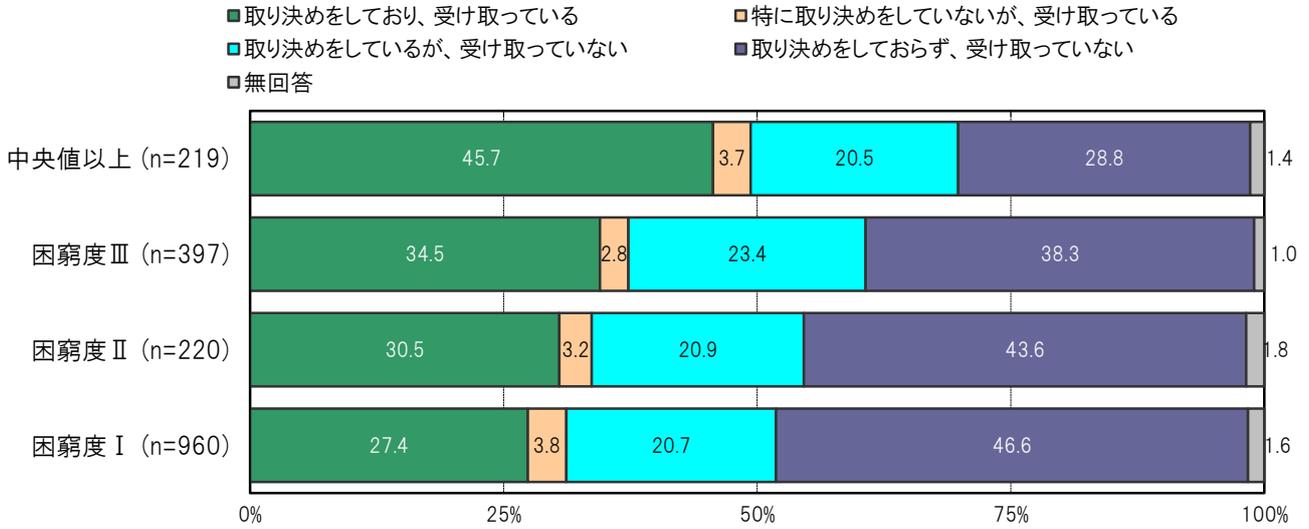


A-142. 困窮度別にみた離婚相手との養育費の状況／ひとり親世帯 【保護者 問4】

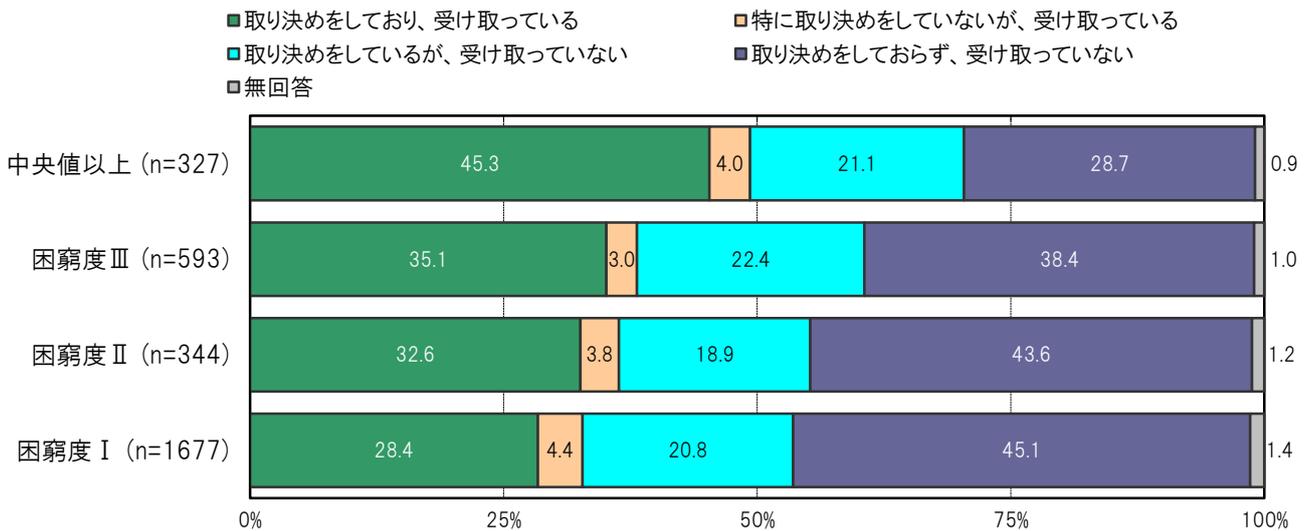
大阪市24区の困窮度Ⅰ群においては、「取り決めをしており、受け取っている」27.4%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」3.8%、「取り決めをしているが、受け取っていない」20.7%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」46.6%となっている。

大阪市24区の中央値以上群においては、「取り決めをしており、受け取っている」45.7%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」3.7%、「取り決めをしているが、受け取っていない」20.5%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」28.8%となっている。

〔大阪市24区／困窮度別〕



〔大阪府／困窮度別〕

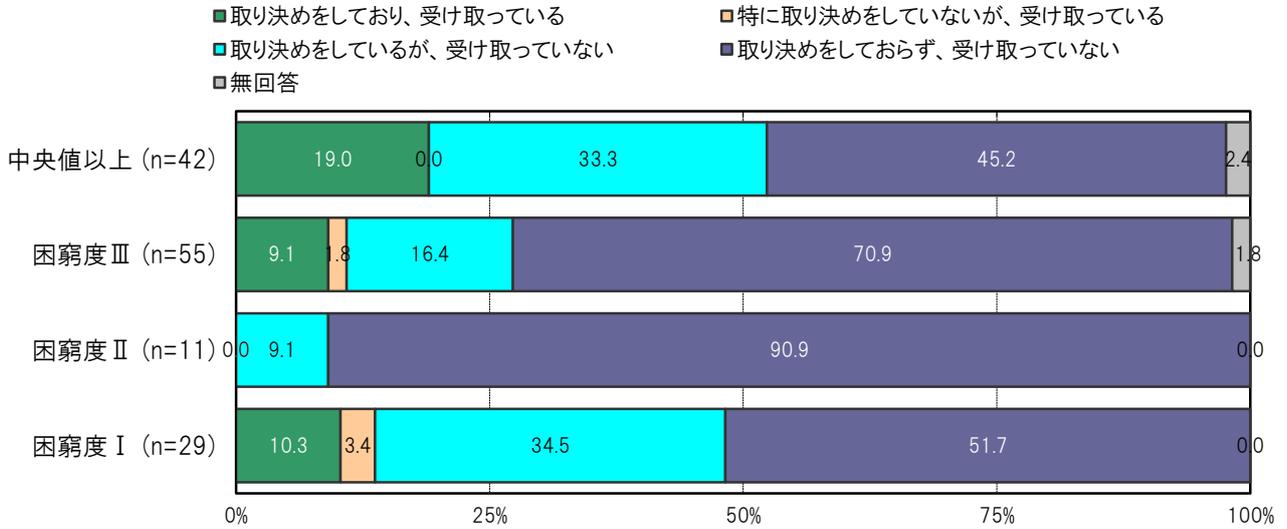


A-143. 困窮度別にみた離婚相手との養育費の状況／父子世帯 【保護者 問4】 ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の困窮度Ⅰ群においては、「取り決めをしており、受け取っている」10.3%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」3.4%、「取り決めをしているが、受け取っていない」34.5%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」51.7%となっている。

大阪市24区の中央値以上群においては、「取り決めをしており、受け取っている」19.0%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」0.0%、「取り決めをしているが、受け取っていない」33.3%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」45.2%となっている。

〔大阪市24区／困窮度別〕

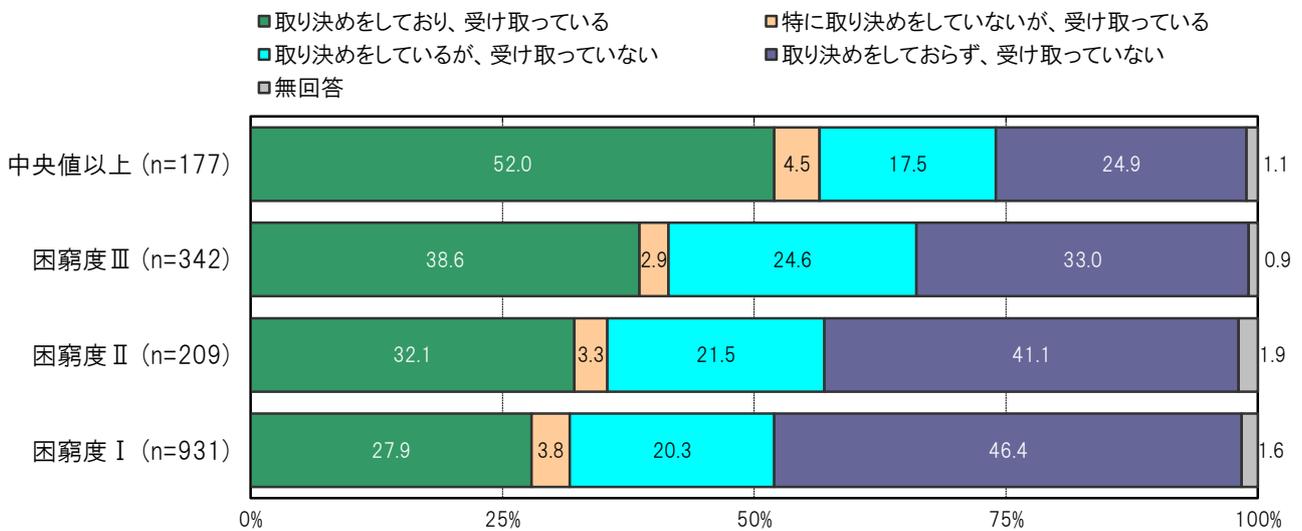


A-144. 困窮度別にみた離婚相手との養育費の状況／母子世帯 【保護者 問4】 ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の困窮度Ⅰ群においては、「取り決めをしており、受け取っている」27.9%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」3.8%、「取り決めをしているが、受け取っていない」20.3%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」46.4%となっている。

大阪市24区の中央値以上群においては、「取り決めをしており、受け取っている」52.0%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」4.5%、「取り決めをしているが、受け取っていない」17.5%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」24.9%となっている。

〔大阪市24区／困窮度別〕



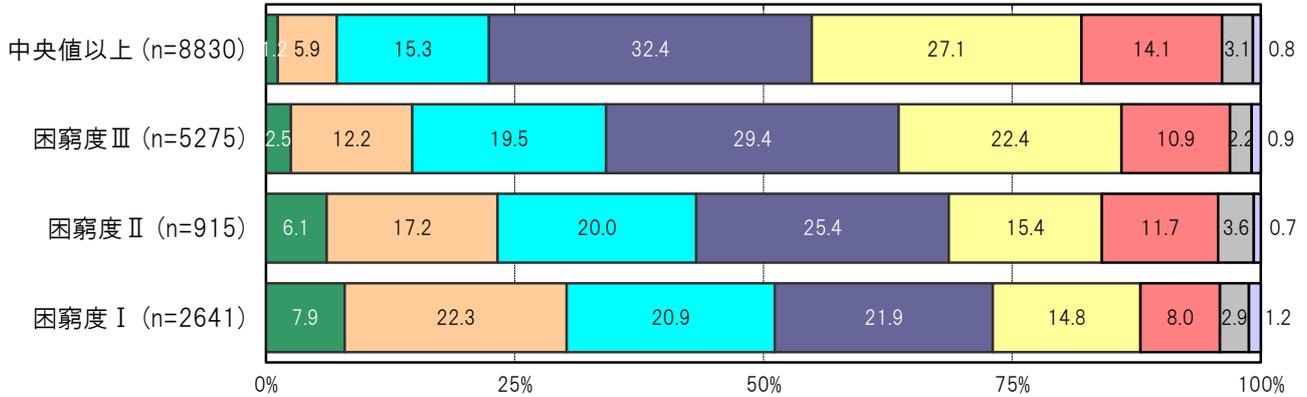
A-145. 困窮度別にみた初めて親となった年齢 【保護者 問18】

大阪市24区の困窮度Ⅰ群においては、「10代」7.9%、「20～23歳」22.3%、「24～26歳」20.9%、「27～30歳」21.9%、「31～34歳」14.8%、「35～39歳」8.0%、「40歳以上」2.9%となっている。

大阪市24区の中央値以上群においては、「10代」1.2%、「20～23歳」5.9%、「24～26歳」15.3%、「27～30歳」32.4%、「31～34歳」27.1%、「35～39歳」14.1%、「40歳以上」3.1%となっている。

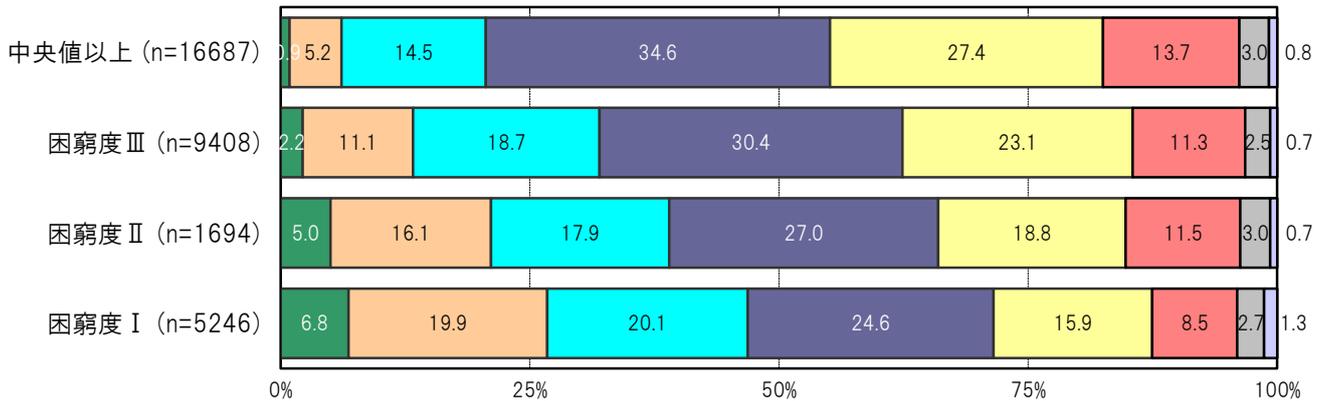
〔大阪市24区／困窮度別〕

■10代 ■20～23歳 ■24～26歳 ■27～30歳 ■31～34歳 ■35～39歳 ■40歳以上 ■無回答



〔大阪府／困窮度別〕

■10代 ■20～23歳 ■24～26歳 ■27～30歳 ■31～34歳 ■35～39歳 ■40歳以上 ■無回答

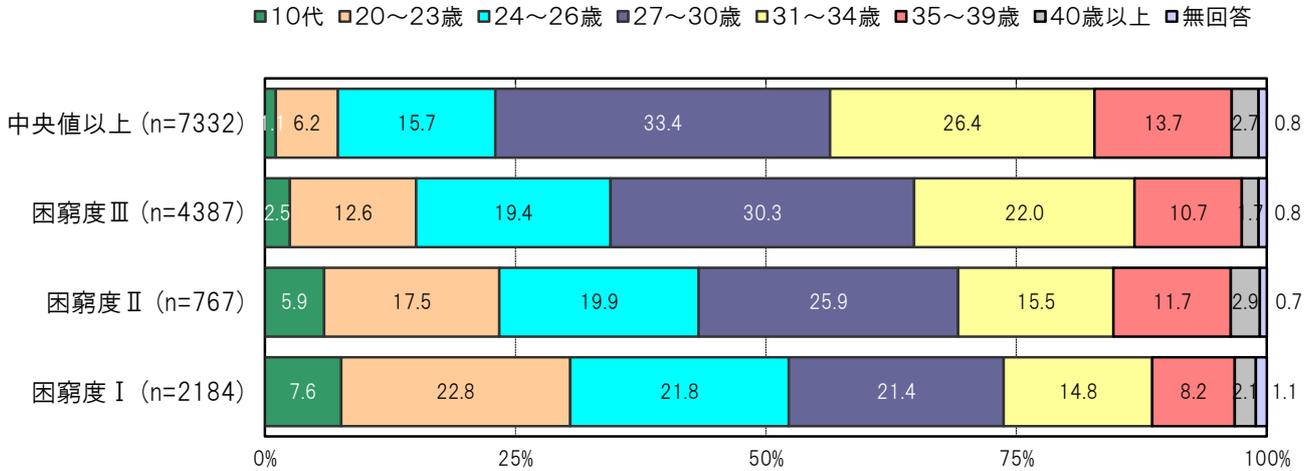


A-146. 困窮度別にみた初めて親となった年齢 【保護者 問18】 (回答者母親限定)

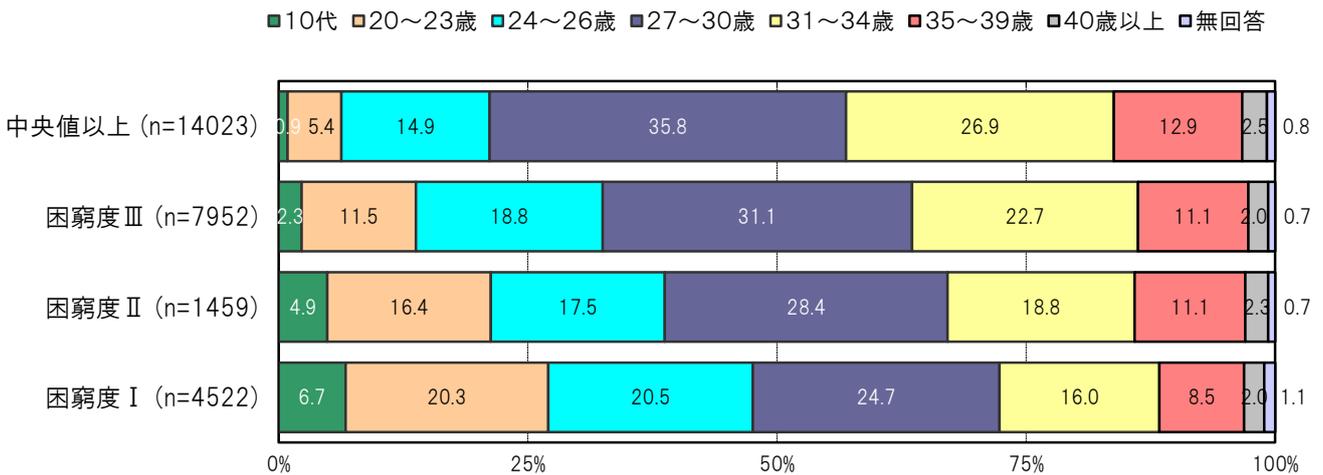
大阪市24区の困窮度Ⅰ群においては、「10代」7.6%、「20～23歳」22.8%、「24～26歳」21.8%、「27～30歳」21.4%、「31～34歳」14.8%、「35～39歳」8.2%、「40歳以上」2.1%となっている。

大阪市24区の中央値以上群においては、「10代」1.1%、「20～23歳」6.2%、「24～26歳」15.7%、「27～30歳」33.4%、「31～34歳」26.4%、「35～39歳」13.7%、「40歳以上」2.7%となっている。

〔大阪市24区／困窮度別〕



〔大阪府／困窮度別〕



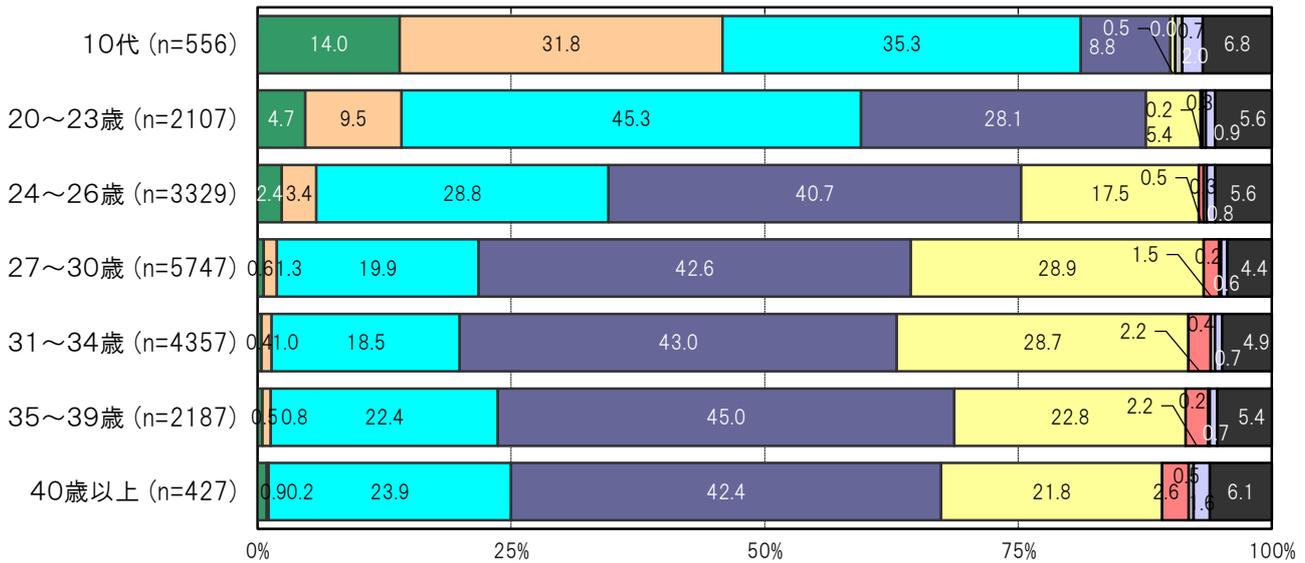
A-147. 初めて親となった年齢別にみた母親の最終学歴 [保護者 問9] (回答者母親限定)

大阪市24区の親になった年齢/27～30歳群においては、「中学校卒業」0.6%、「高等学校中途退学」1.3%、「高等学校卒業」19.9%、「高専、短大、専門学校等卒業」42.6%、「大学卒業」28.9%、「大学院修了」1.5%、「その他の教育機関卒業」0.2%、「答えたくない」0.6%となっている。

大阪市24区の親になった年齢/31～34歳群においては、「中学校卒業」0.4%、「高等学校中途退学」1.0%、「高等学校卒業」18.5%、「高専、短大、専門学校等卒業」43.0%、「大学卒業」28.7%、「大学院修了」2.2%、「その他の教育機関卒業」0.4%、「答えたくない」0.7%となっている。

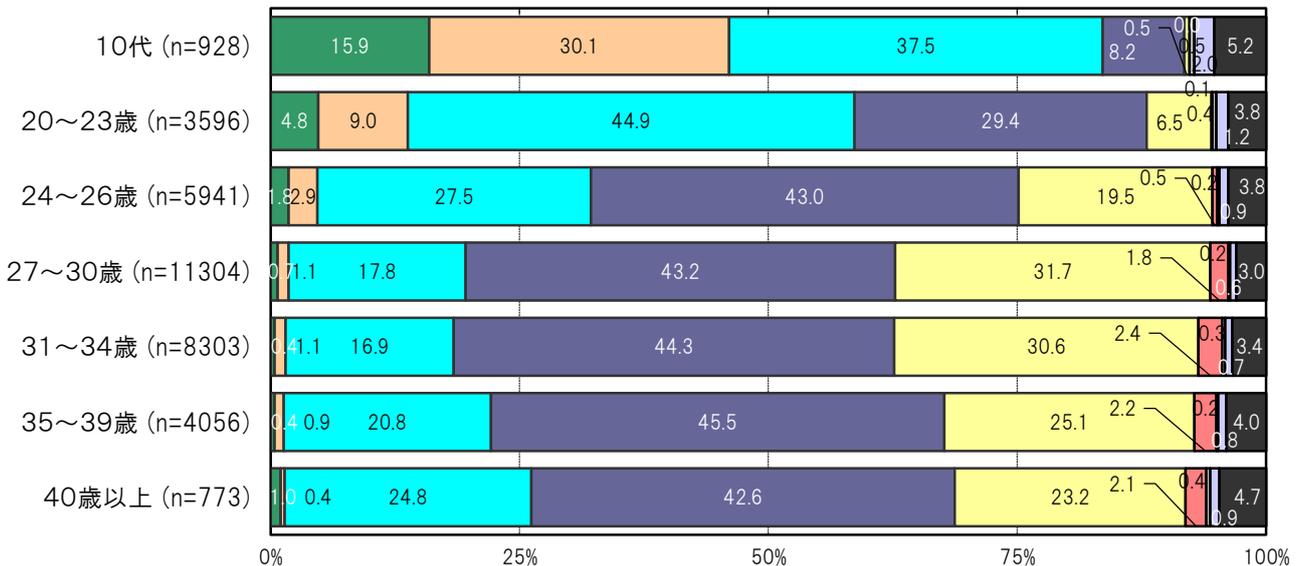
[大阪市24区/初めて親となった年齢別]

- 中学校卒業
- 高等学校中途退学
- 高等学校卒業
- 高専、短大、専門学校等卒業
- 大学卒業
- 大学院修了
- その他の教育機関卒業
- 答えたくない
- 無回答



[大阪府/初めて親となった年齢別]

- 中学校卒業
- 高等学校中途退学
- 高等学校卒業
- 高専、短大、専門学校等卒業
- 大学卒業
- 大学院修了
- その他の教育機関卒業
- 答えたくない
- 無回答



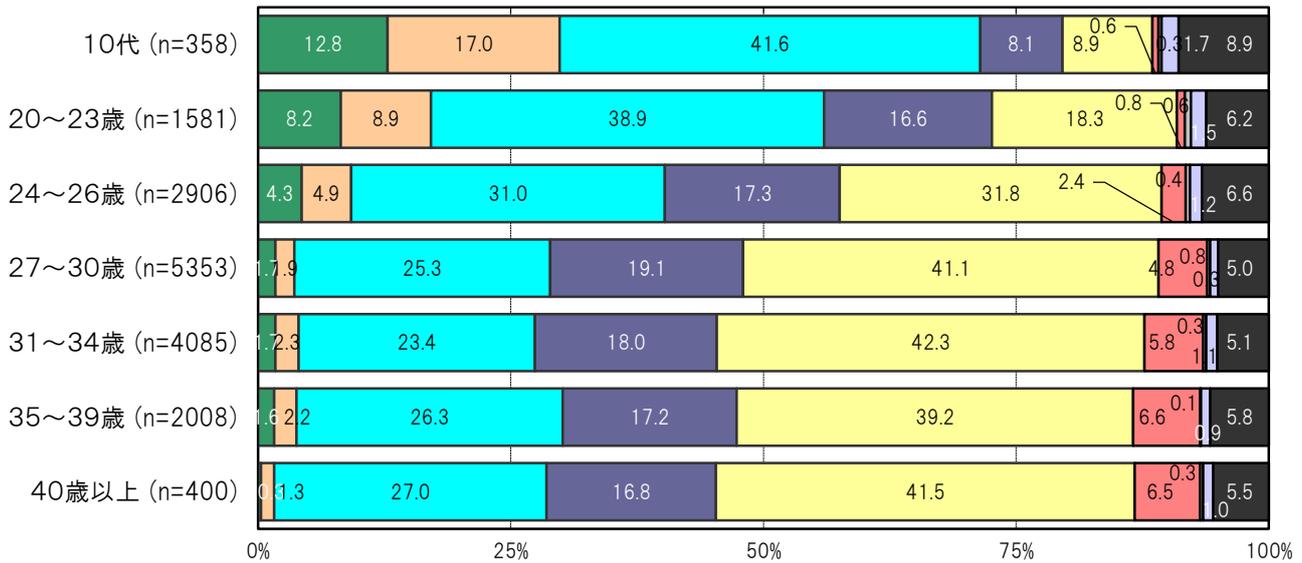
A-148. 初めて親となった年齢別にみた父親の最終学歴 [保護者 問9] (回答者母親限定)

大阪市24区の親になった年齢/27~30歳群においては、「中学校卒業」1.7%、「高等学校中途退学」1.9%、「高等学校卒業」25.3%、「高専、短大、専門学校等卒業」19.1%、「大学卒業」41.1%、「大学院修了」4.8%、「その他の教育機関卒業」0.8%、「答えたくない」0.8%となっている。

大阪市24区の親になった年齢/31~34歳群においては、「中学校卒業」1.7%、「高等学校中途退学」2.3%、「高等学校卒業」23.4%、「高専、短大、専門学校等卒業」18.0%、「大学卒業」42.3%、「大学院修了」5.8%、「その他の教育機関卒業」0.3%、「答えたくない」1.1%となっている。

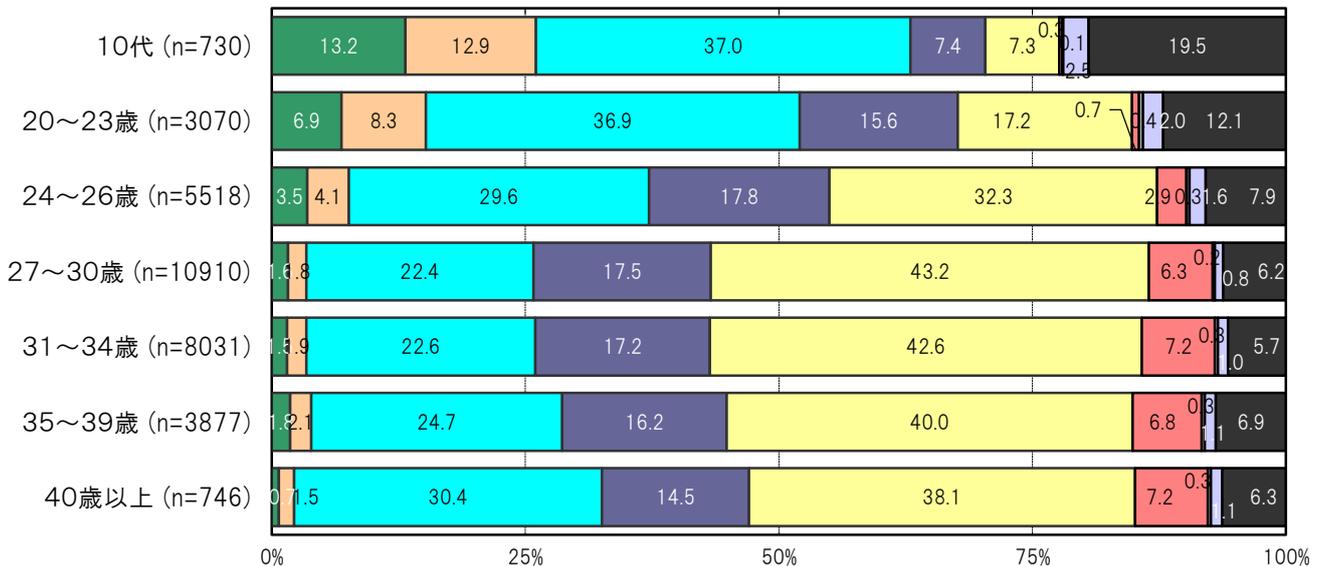
〔大阪市24区/初めて親となった年齢別〕

- 中学校卒業
- 高等学校中途退学
- 高等学校卒業
- 高専、短大、専門学校等卒業
- 大学卒業
- 大学院修了
- その他の教育機関卒業
- 答えたくない
- 無回答



〔大阪府/初めて親となった年齢別〕

- 中学校卒業
- 高等学校中途退学
- 高等学校卒業
- 高専、短大、専門学校等卒業
- 大学卒業
- 大学院修了
- その他の教育機関卒業
- 答えたくない
- 無回答



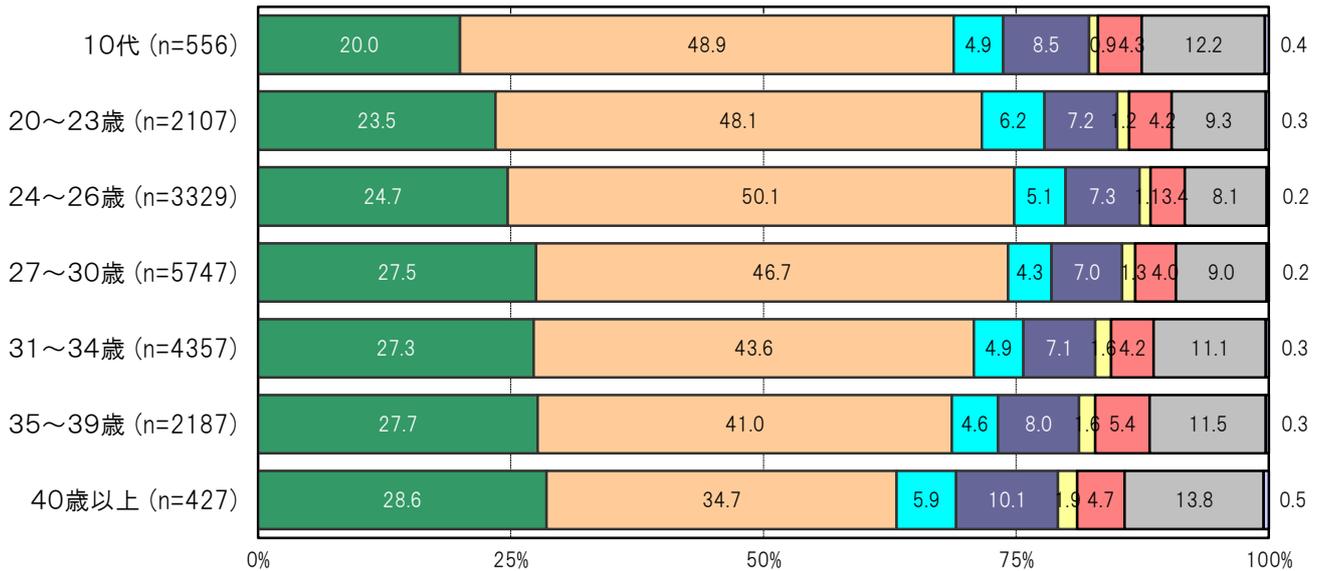
A-149. 初めて親となった年齢別にみた母親の就業状況 [保護者 問10] (回答者母親限定) ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の親になった年齢／27～30歳群においては、「勤め(常勤・正規職員)」27.5%、「勤め(パート、アルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」46.7%、「勤め(パート、アルバイト、非正規職員で複数か所に勤務)」4.3%、「自営業・家業」7.0%、「その他の就業形態」1.3%、「仕事を探している」4.0%、「仕事を探していない」9.0%、となっている。

大阪市24区の親になった年齢／31～34歳群においては、「勤め(常勤・正規職員)」27.3%、「勤め(パート、アルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」43.6%、「勤め(パート、アルバイト、非正規職員で複数か所に勤務)」4.9%、「自営業・家業」7.1%、「その他の就業形態」1.6%、「仕事を探している」4.2%、「仕事を探していない」11.1%、となっている。

〔大阪市24区／初めて親となった年齢別〕

- 勤め(常勤・正規職員)
- 勤め(パート、アルバイト、非正規職員で複数か所に勤務)
- 勤め(パート、アルバイト、非正規職員で1か所に勤務)
- 自営業・家業
- その他の就業形態
- 仕事を探している
- 仕事を探していない
- 無回答



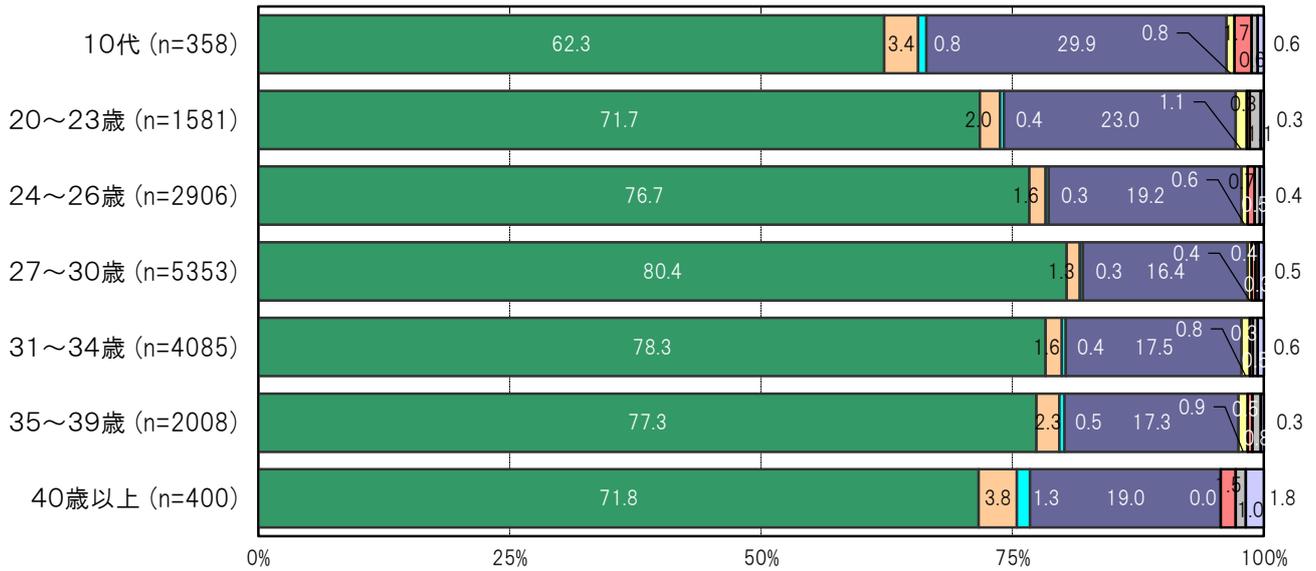
A-150. 初めて親となった年齢別にみた父親の就業状況 [保護者 問10] (回答者母親限定) ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の親になった年齢/27～30歳群においては、「勤め(常勤・正規職員)」80.4%、「勤め(パート、アルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」1.3%、「勤め(パート、アルバイト、非正規職員で複数か所に勤務)」0.3%、「自営業・家業」16.4%、「その他の就業形態」0.4%、「仕事を探している」0.4%、「仕事を探していない」0.3%、となっている。

大阪市24区の親になった年齢/31～34歳群においては、「勤め(常勤・正規職員)」78.3%、「勤め(パート、アルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」1.6%、「勤め(パート、アルバイト、非正規職員で複数か所に勤務)」0.4%、「自営業・家業」17.5%、「その他の就業形態」0.8%、「仕事を探している」0.3%、「仕事を探していない」0.5%、となっている。

[大阪市24区/初めて親となった年齢別]

- 勤め(常勤・正規職員)
- 勤め(パート、アルバイト、非正規職員で複数か所に勤務)
- 勤め(パート、アルバイト、非正規職員で1か所に勤務)
- 自営業・家業
- その他の就業形態
- 仕事を探している
- 仕事を探していない
- 無回答



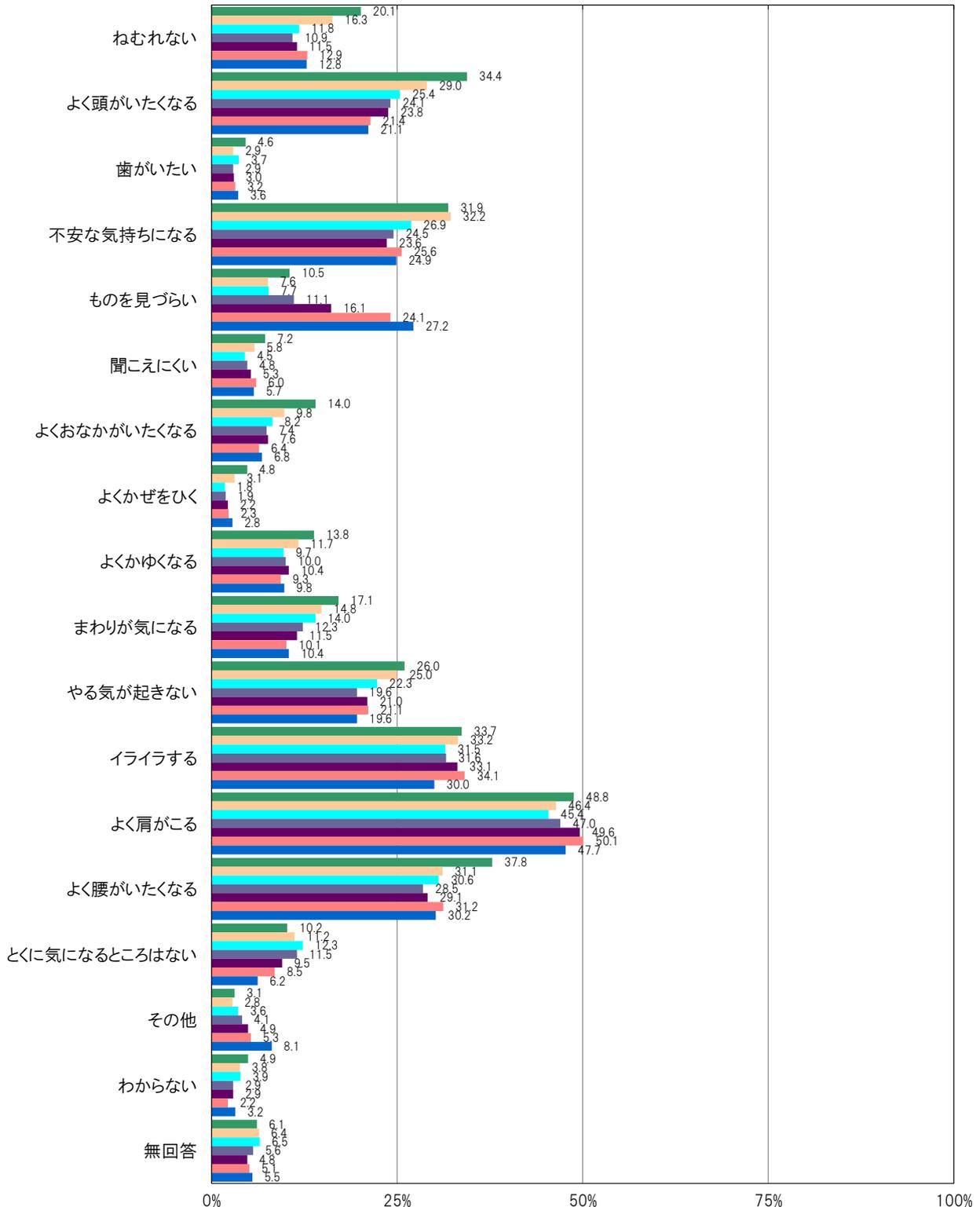
A-151. 初めて親となった年齢別にみた自分の体や気持ちについて気になること [保護者 問23]
(回答者母親限定)

大阪市24区の親になった年齢／27～30歳群においては、「よく肩がこる」47.0%、「イライラする」31.6%、「よく腰がいたくなる」28.5%の順に高くなっている。

大阪市24区の親になった年齢／31～34歳群においては、「よく肩がこる」49.6%、「イライラする」33.1%、「よく腰がいたくなる」29.1%の順に高くなっている。

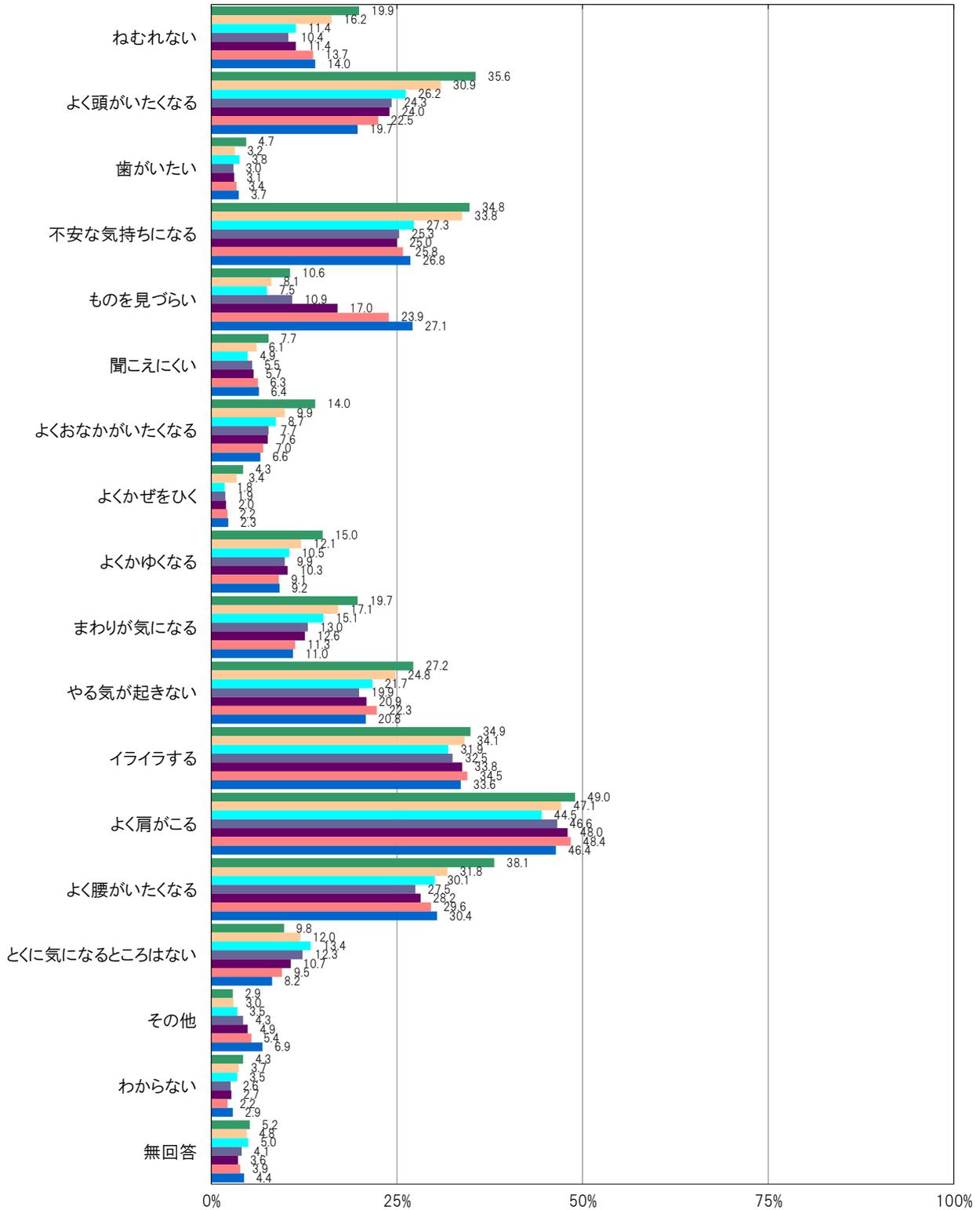
〔大阪市24区／初めて親となった年齢別〕

■ 10代 ■ 20～23歳 ■ 24～26歳 ■ 27～30歳 ■ 31～34歳 ■ 35～39歳 ■ 40歳以上



〔大阪府／初めて親となった年齢別〕

■ 10代 ■ 20～23歳 ■ 24～26歳 ■ 27～30歳 ■ 31～34歳 ■ 35～39歳 ■ 40歳以上

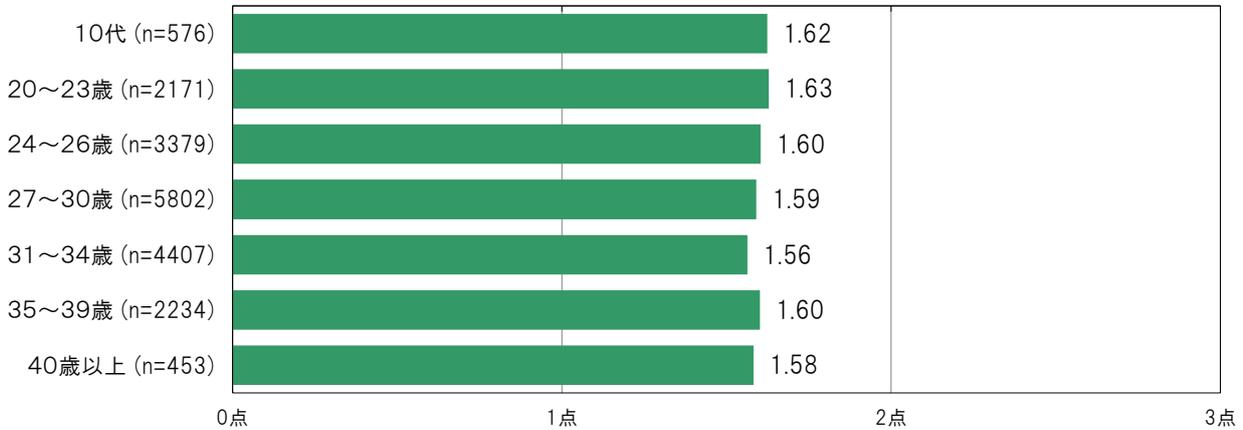


A-152. 初めて親となった年齢別 楽しみにしていることがたくさんある [子ども 問22①]
 (回答者母親限定) ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の親になった年齢別の加重得点平均は、「10代」1.62点、「20～23歳」1.63点、「24～26歳」1.60点、「27～30歳」1.59点、「31～34歳」1.56点、「35～39歳」1.60点、「40歳以上」1.58点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市24区／初めて親となった年齢別〕

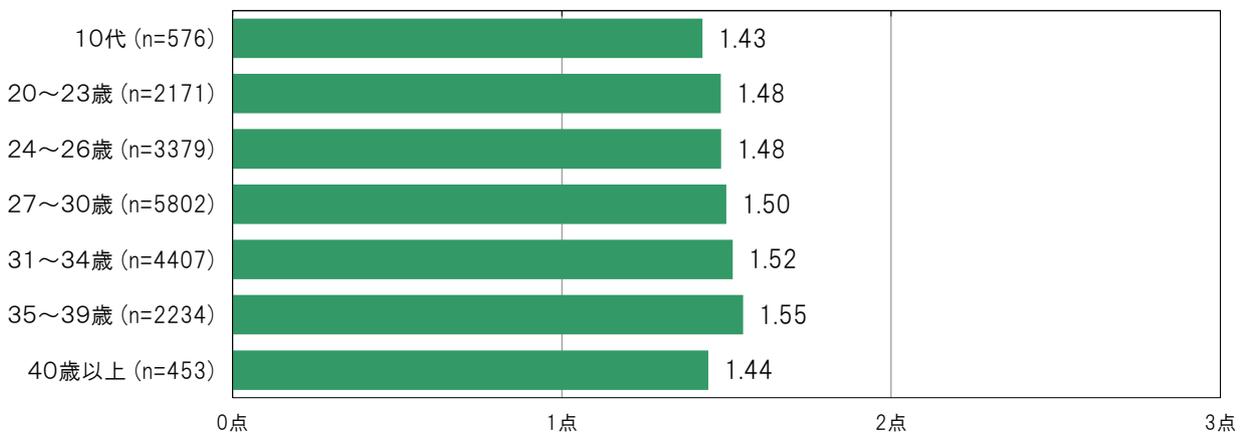


A-153. 初めて親となった年齢別 遊びにでかけるのが好きだ [子ども 問22②] (回答者母親限定)
 ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の親になった年齢別の加重得点平均は、「10代」1.43点、「20～23歳」1.48点、「24～26歳」1.48点、「27～30歳」1.50点、「31～34歳」1.52点、「35～39歳」1.55点、「40歳以上」1.44点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市24区／初めて親となった年齢別〕

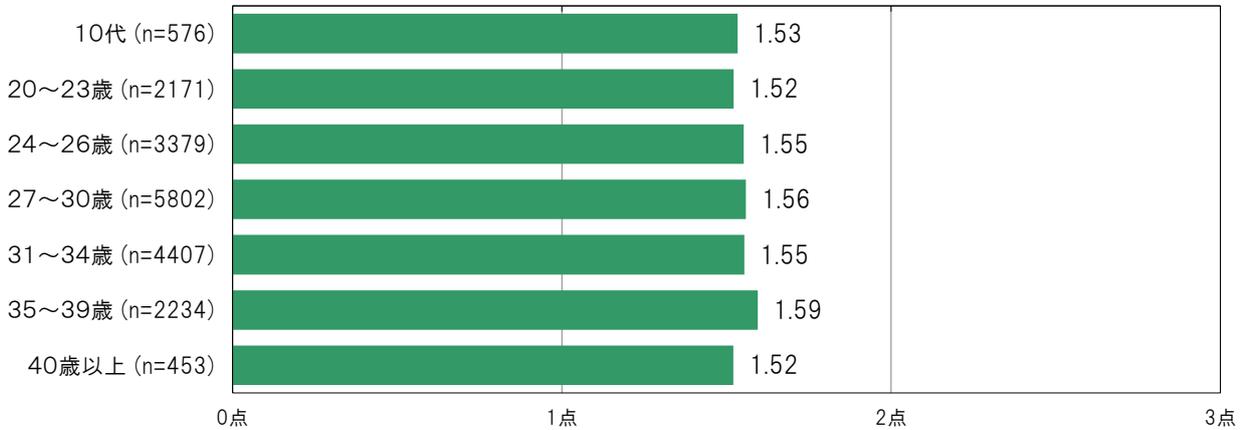


A-154. 初めて親となった年齢別 元気いっぱいだ 【子ども 問22③】 (回答者母親限定)
 ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の親になった年齢別の加重得点平均は、「10代」1.53点、「20～23歳」1.52点、「24～26歳」1.55点、「27～30歳」1.56点、「31～34歳」1.55点、「35～39歳」1.59点、「40歳以上」1.52点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市24区／初めて親となった年齢別〕

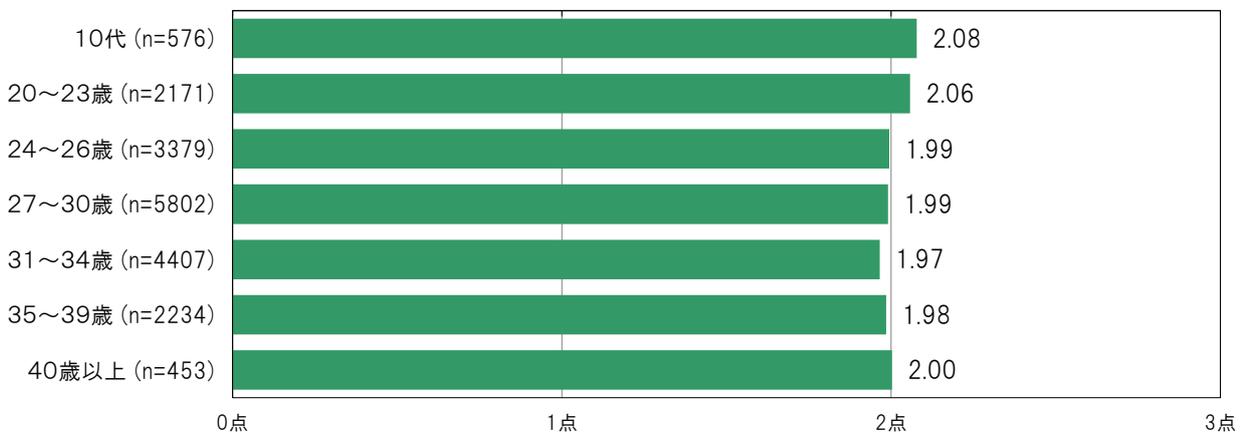


A-155. 初めて親となった年齢別 やろうと思ったことがうまくできる 【子ども 問22④】
 (回答者母親限定) ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の親になった年齢別の加重得点平均は、「10代」2.08点、「20～23歳」2.06点、「24～26歳」1.99点、「27～30歳」1.99点、「31～34歳」1.97点、「35～39歳」1.98点、「40歳以上」2.00点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市24区／初めて親となった年齢別〕

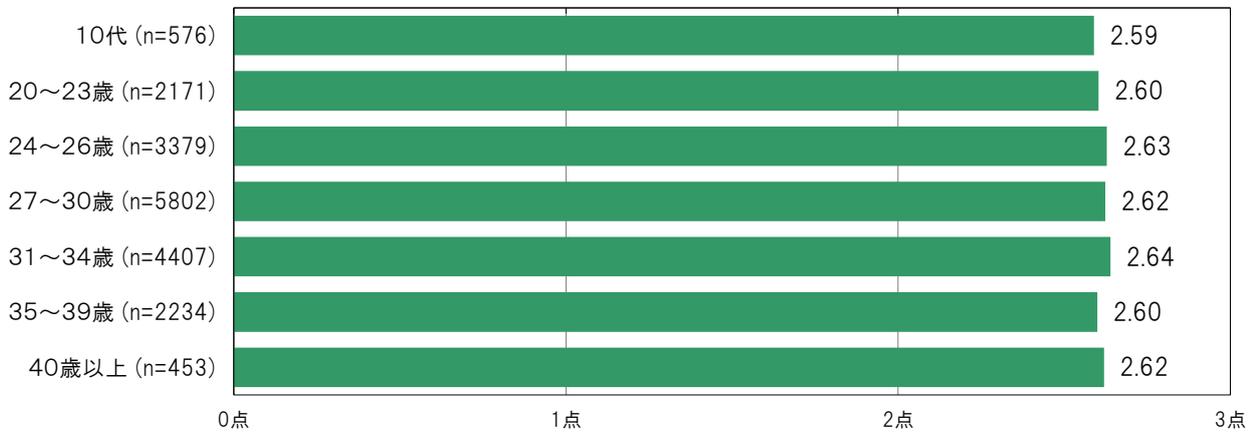


A-156. 初めて親となった年齢別 一人ぼっちのような気がする [子ども 問22⑤]
 (回答者母親限定) ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の親になった年齢別の加重得点平均は、「10代」2.59点、「20～23歳」2.60点、「24～26歳」2.63点、「27～30歳」2.62点、「31～34歳」2.64点、「35～39歳」2.60点、「40歳以上」2.62点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市24区／初めて親となった年齢別〕

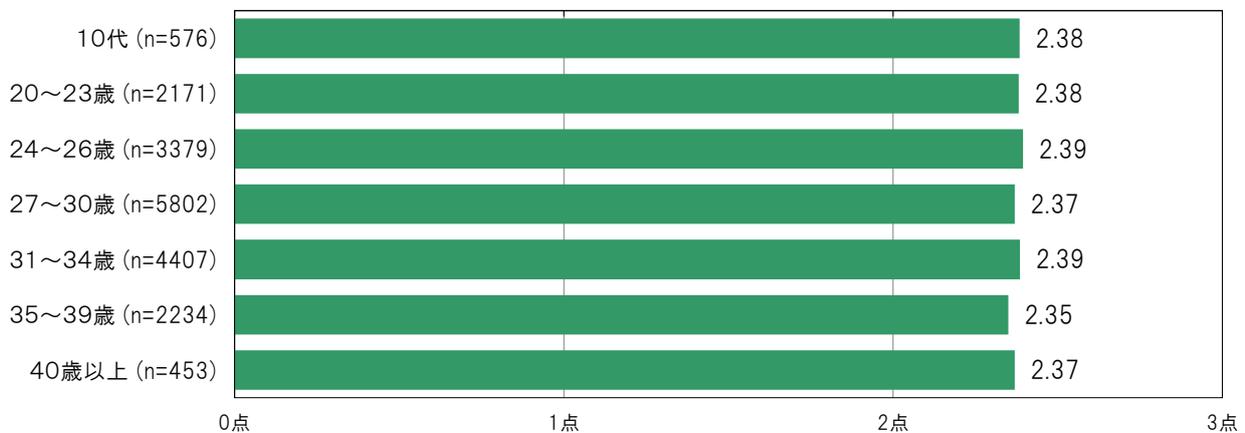


A-157. 初めて親となった年齢別 不安な気持ちになる [子ども 問22⑥] (回答者母親限定)
 ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の親になった年齢別の加重得点平均は、「10代」2.38点、「20～23歳」2.38点、「24～26歳」2.39点、「27～30歳」2.37点、「31～34歳」2.39点、「35～39歳」2.35点、「40歳以上」2.37点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市24区／初めて親となった年齢別〕

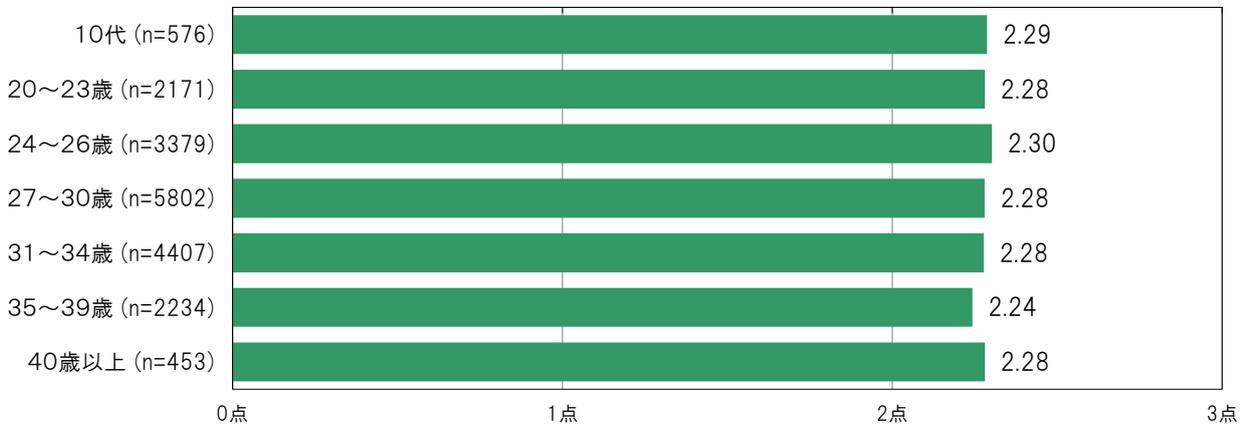


A-158. 初めて親となった年齢別 まわりが気になる [子ども 問22⑦] (回答者母親限定)
 ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の親になった年齢別の加重得点平均は、「10代」2.29点、「20～23歳」2.28点、「24～26歳」2.30点、「27～30歳」2.28点、「31～34歳」2.28点、「35～39歳」2.24点、「40歳以上」2.28点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市24区／初めて親となった年齢別〕

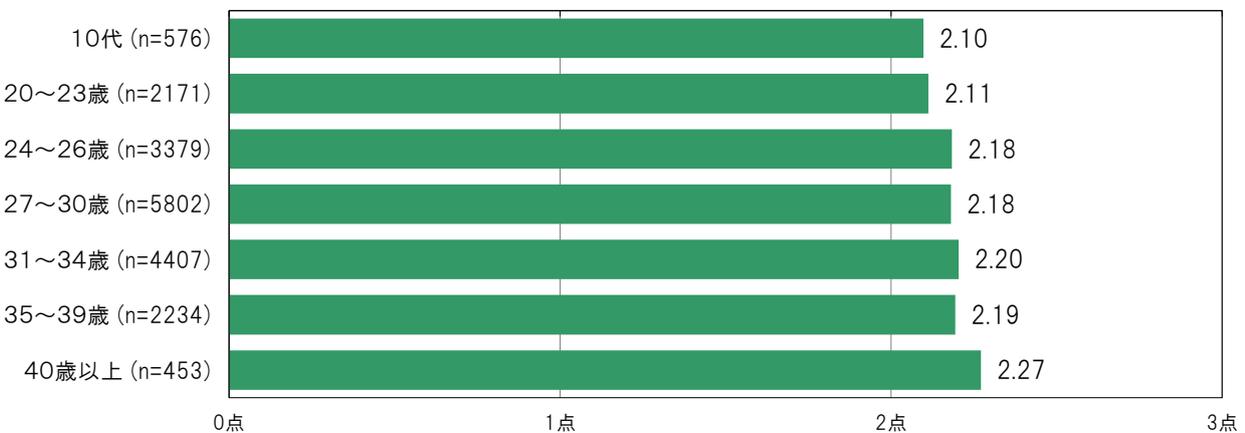


A-159. 初めて親となった年齢別 やる気が起きない [子ども 問22⑧] (回答者母親限定)
 ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の親になった年齢別の加重得点平均は、「10代」2.10点、「20～23歳」2.11点、「24～26歳」2.18点、「27～30歳」2.18点、「31～34歳」2.20点、「35～39歳」2.19点、「40歳以上」2.27点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市24区／初めて親となった年齢別〕

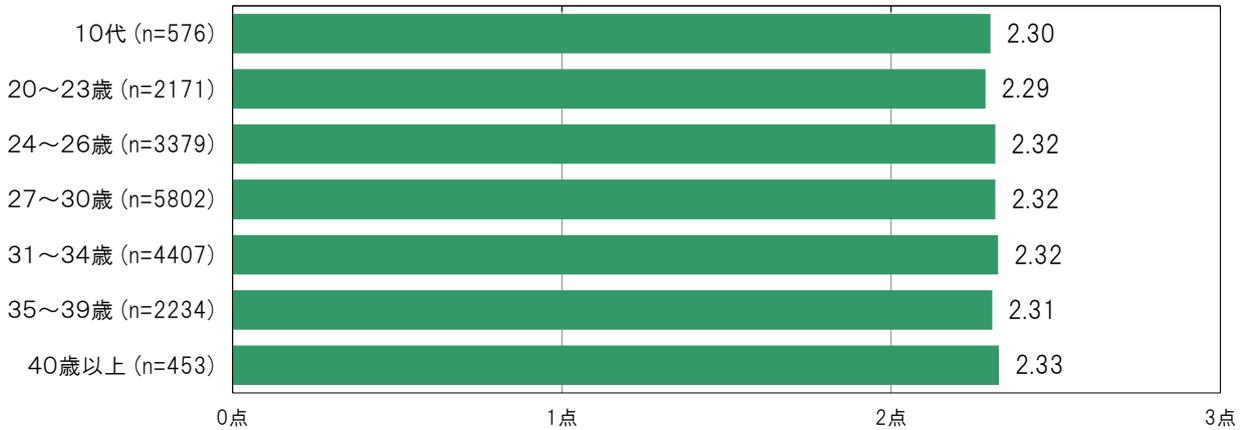


A-160. 初めて親となった年齢別 いろいろする 【子ども 問22⑨】 (回答者母親限定)
 ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の親になった年齢別の加重得点平均は、「10代」2.30点、「20～23歳」2.29点、「24～26歳」2.32点、「27～30歳」2.32点、「31～34歳」2.32点、「35～39歳」2.31点、「40歳以上」2.33点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

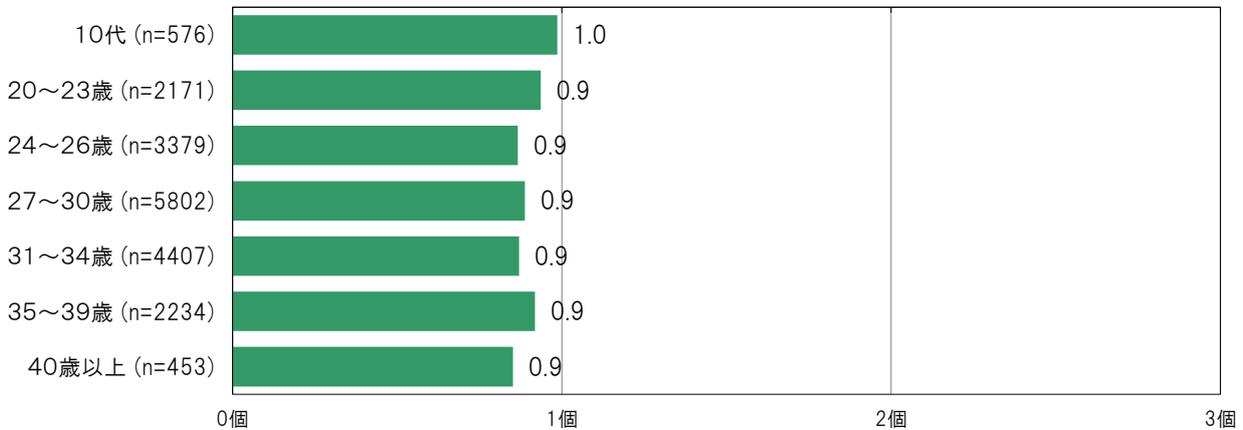
〔大阪市24区／初めて親となった年齢別〕



A-161. 初めて親となった年齢別 自分の体の状態で気になること (該当数) 【子ども 問23】
 (回答者母親限定) ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の親になった年齢別の該当数平均は、「10代」1.0個、「20～23歳」0.9個、「24～26歳」0.9個、「27～30歳」0.9個、「31～34歳」0.9個、「35～39歳」0.9個、「40歳以上」0.9個となっている。

〔大阪市24区／初めて親となった年齢別〕

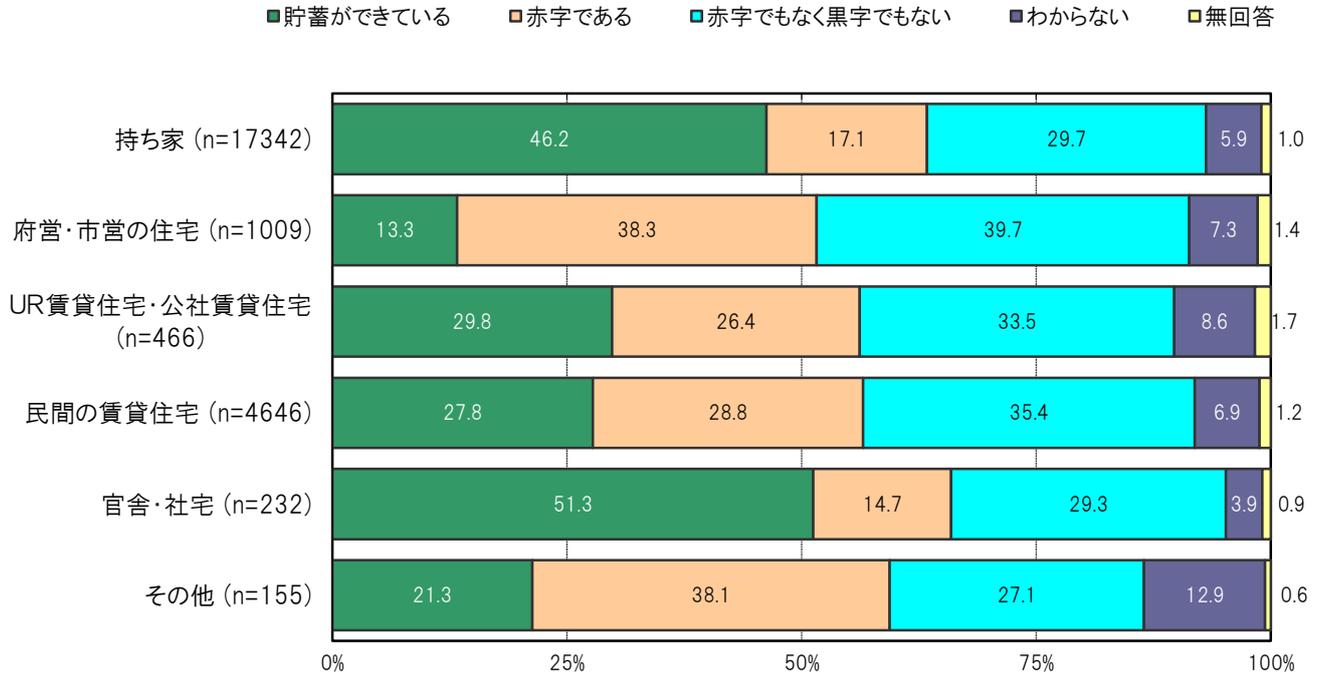


A-162. 住居の種類別みた2022年の家計状況 【保護者 問7(1)】

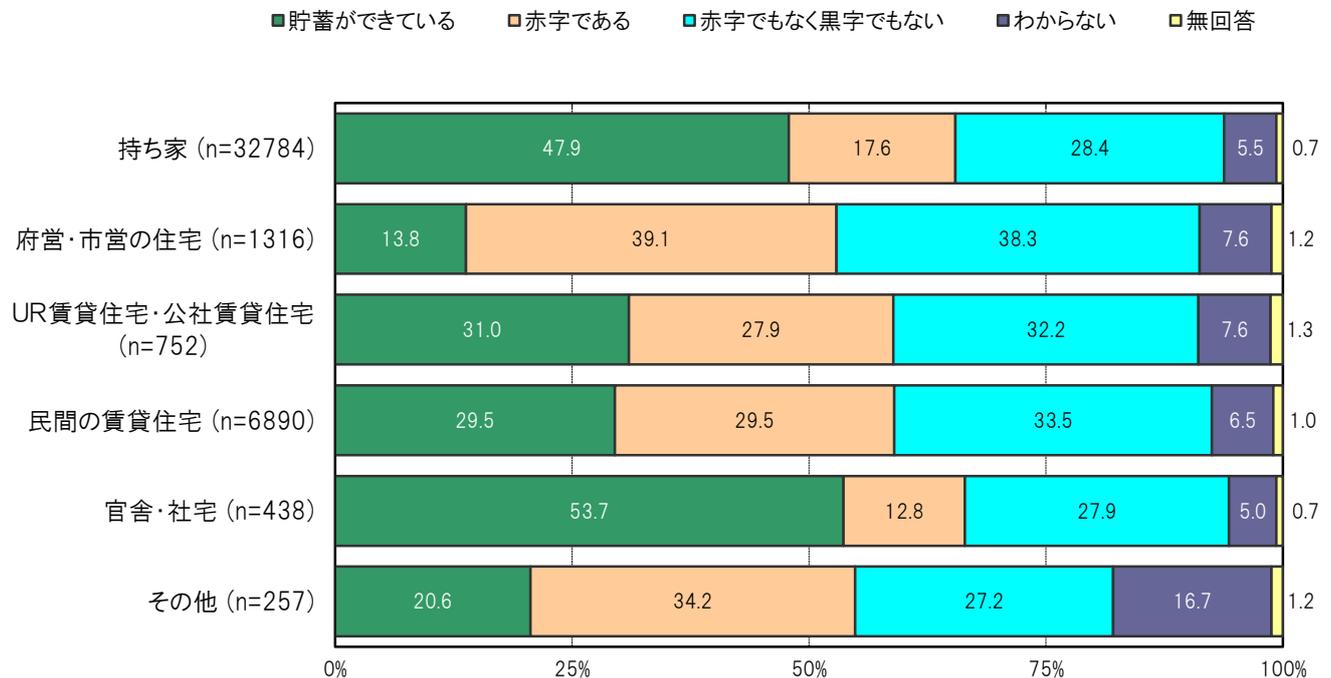
大阪市24区の住居の種類／持ち家群においては、「貯蓄ができています」46.2%、「赤字である」17.1%、「赤字でもなく黒字でもない」29.7%、「わからない」5.9%となっている。

大阪市24区の住居の種類／民間の賃貸住宅群においては、「貯蓄ができています」27.8%、「赤字である」28.8%、「赤字でもなく黒字でもない」35.4%、「わからない」6.9%となっている。

〔大阪市24区／住居の種類別〕



〔大阪府／住居の種類別〕

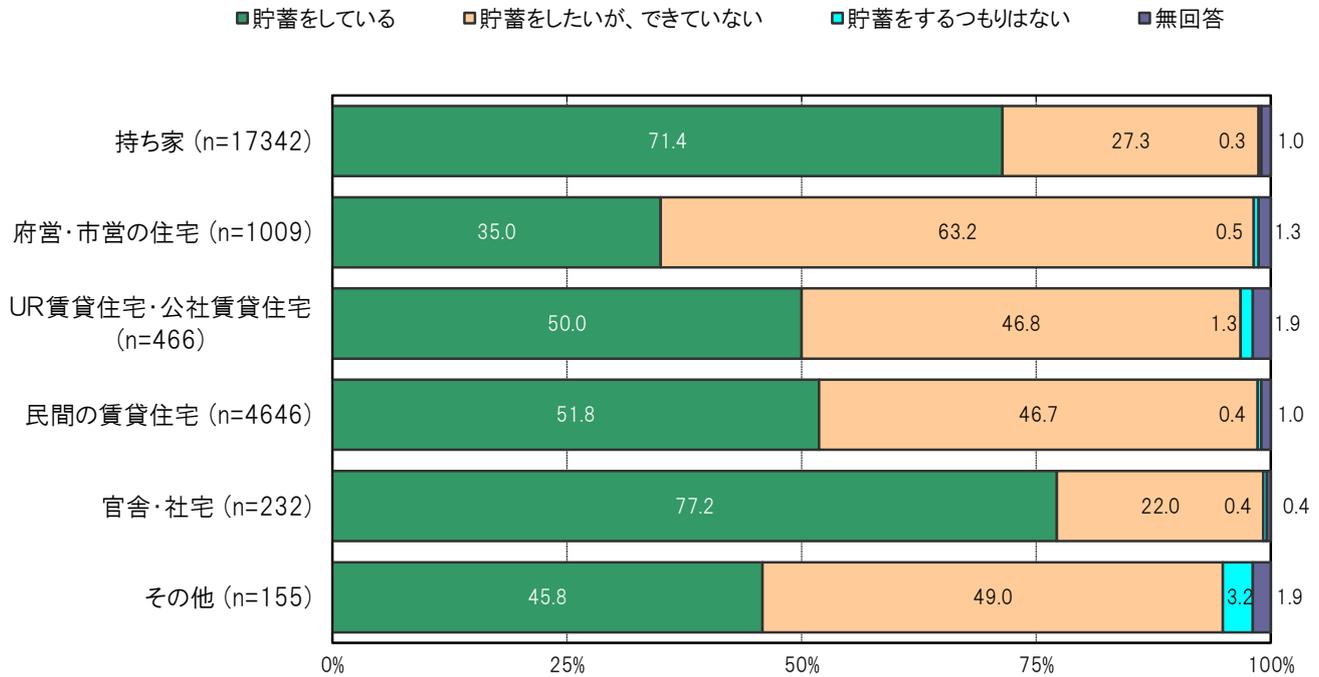


A-163. 住居の種類別に見た子どものための貯蓄状況 [保護者 問7(2)]

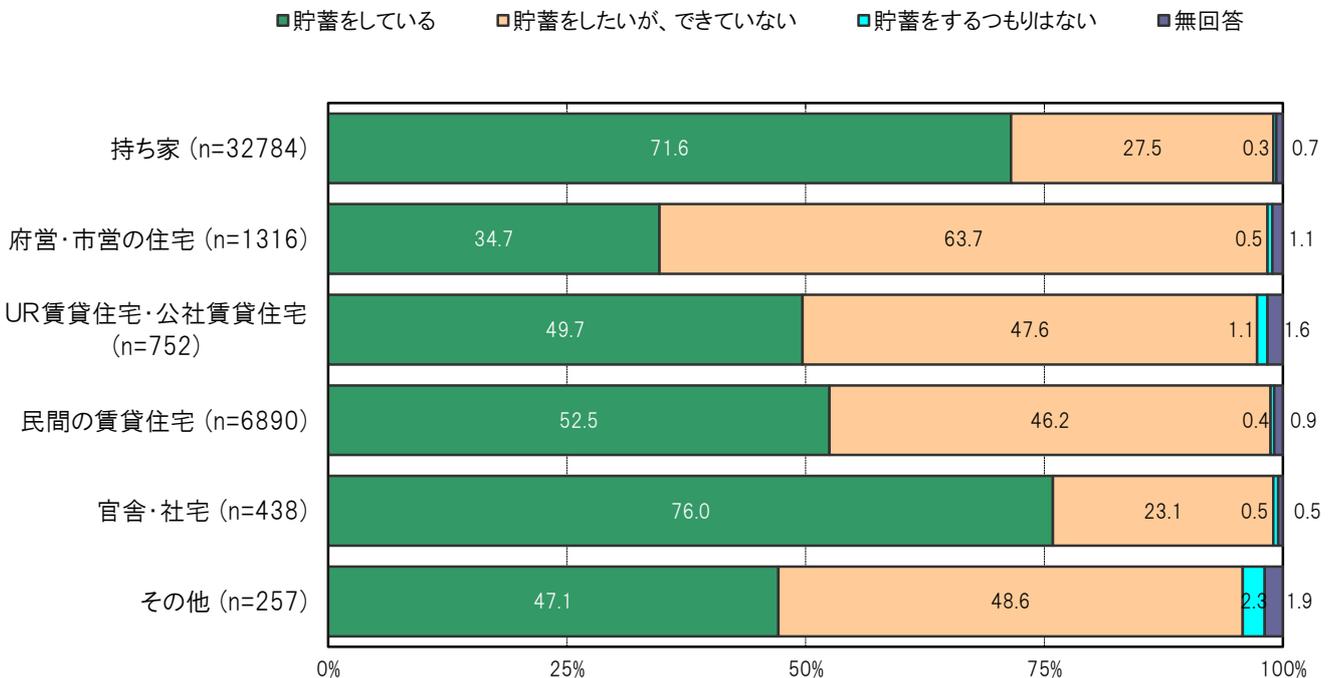
大阪市24区の住居の種類／持ち家群においては、「貯蓄をしている」71.4%、「貯蓄をしたいが、できていない」27.3%、「貯蓄をするつもりはない」0.3%、となっている。

大阪市24区の住居の種類／民間の賃貸住宅群においては、「貯蓄をしている」51.8%、「貯蓄をしたいが、できていない」46.7%、「貯蓄をするつもりはない」0.4%、となっている。

〔大阪市24区／住居の種類別〕



〔大阪府／住居の種類別〕

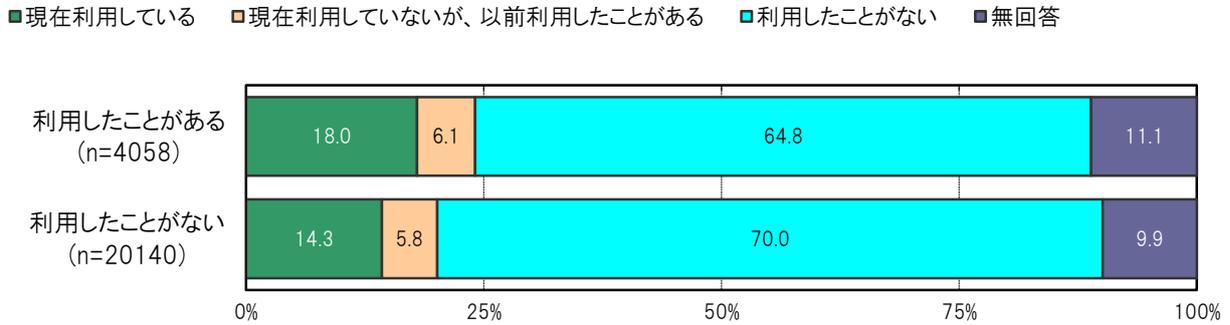


A-164. こどもの居場所の利用状況別に見た支援制度の利用状況／就学援助 [保護者 問24a]

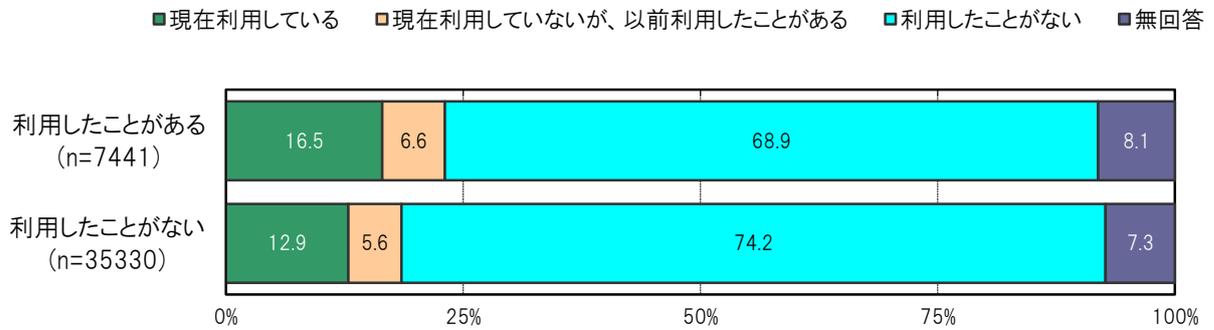
大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがある群においては、「現在利用している」18.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」6.1%、「利用したことがない」64.8%、となっている。

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがない群においては、「現在利用している」14.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」5.8%、「利用したことがない」70.0%、となっている。

〔大阪市24区／こどもの居場所の利用状況別〕



〔大阪府／こどもの居場所の利用状況別〕



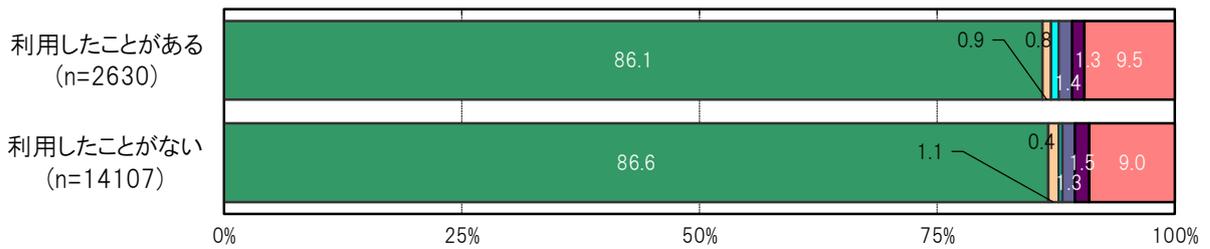
A-165. こどもの居場所の利用状況別にみた支援制度を利用しない理由／就学援助 [保護者 問24a]
 ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがある群においては、「制度の対象外」86.1%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」0.9%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」0.8%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」1.4%、「それ以外の理由」1.3%となっている。

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがない群においては、「制度の対象外」86.6%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」1.1%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」0.4%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」1.3%、「それ以外の理由」1.5%となっている。

〔大阪市24区／こどもの居場所の利用状況別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答

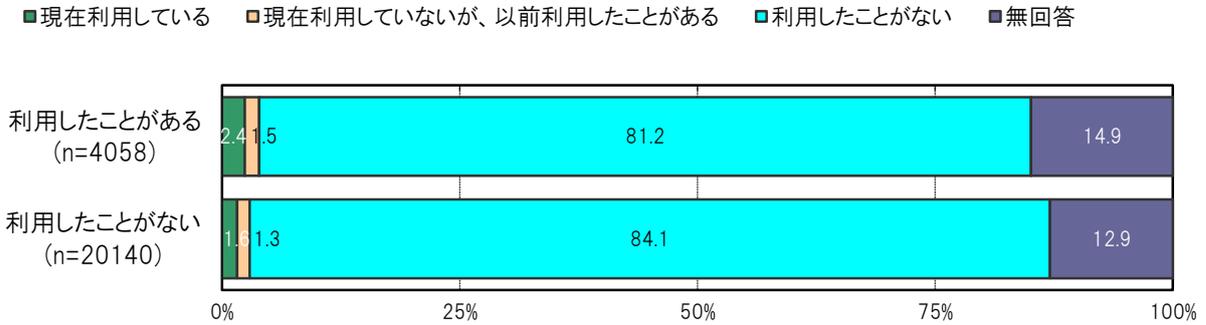


A-166. こどもの居場所の利用状況別に見た支援制度の利用状況／生活保護 【保護者 問24b】

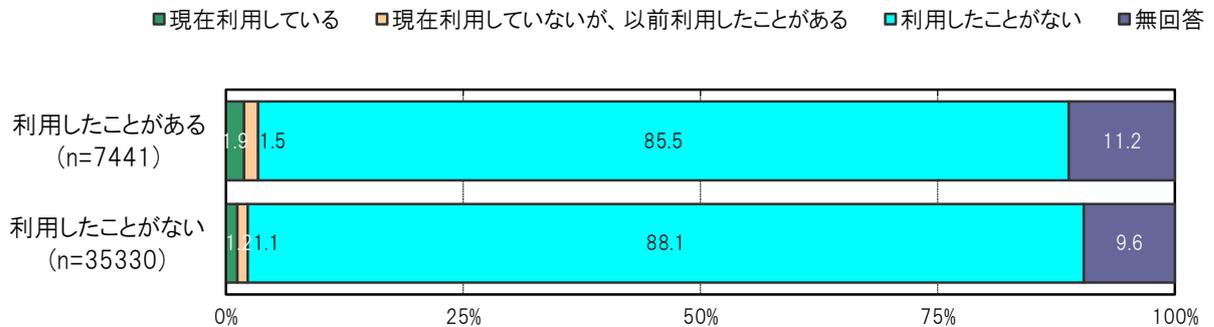
大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがある群においては、「現在利用している」2.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」1.5%、「利用したことがない」81.2%、となっている。

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがない群においては、「現在利用している」1.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」1.3%、「利用したことがない」84.1%、となっている。

〔大阪市24区／こどもの居場所の利用状況別〕



〔大阪府／こどもの居場所の利用状況別〕



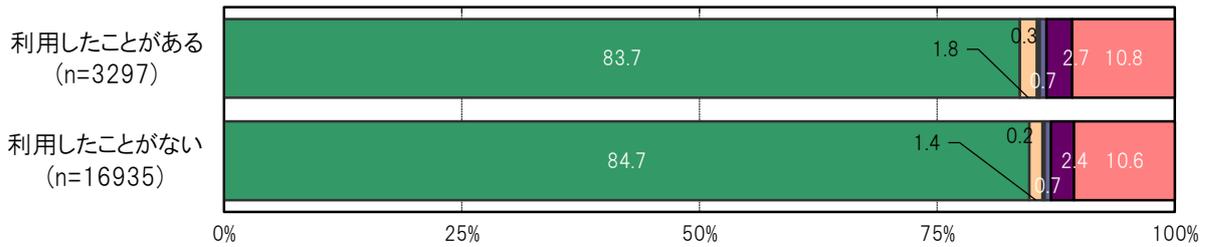
A-167. こどもの居場所の利用状況別にみた支援制度を利用しない理由／生活保護 【保護者 問24b】
 ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがある群においては、「制度の対象外」83.7%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」1.8%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」0.3%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」0.7%、「それ以外の理由」2.7%となっている。

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがない群においては、「制度の対象外」84.7%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」1.4%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」0.2%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」0.7%、「それ以外の理由」2.4%となっている。

【大阪市24区／こどもの居場所の利用状況別】

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答

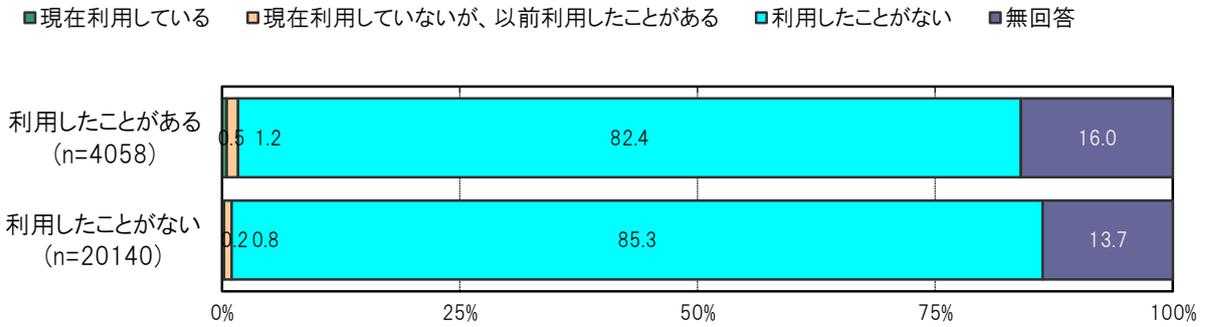


A-168. こどもの居場所の利用状況別に見た支援制度の利用状況／生活困窮者の自立支援相談窓口 【保護者 問24c】

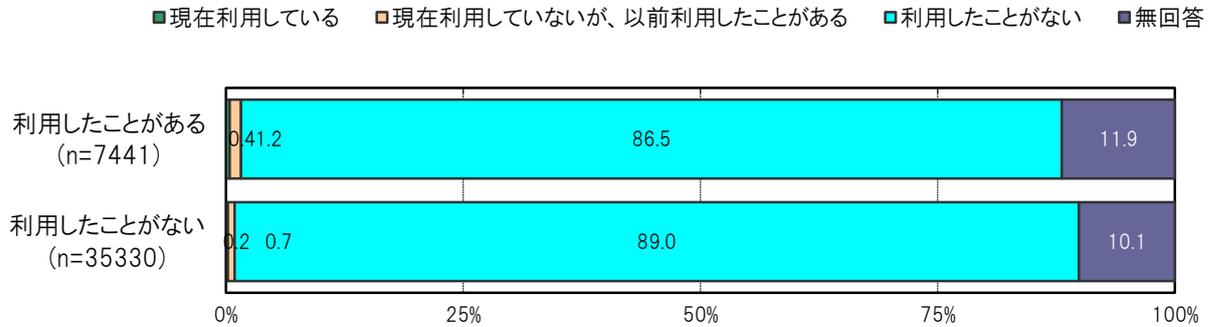
大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがある群においては、「現在利用している」0.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」1.2%、「利用したことがない」82.4%、となっている。

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがない群においては、「現在利用している」0.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」0.8%、「利用したことがない」85.3%、となっている。

〔大阪市24区／こどもの居場所の利用状況別〕



〔大阪府／こどもの居場所の利用状況別〕



A-169. こどもの居場所の利用状況別にみた支援制度を利用しない理由／
生活困窮者の自立支援相談窓口 【保護者 問24c】 ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがある群においては、「制度の対象外」79.2%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」2.8%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」0.9%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」1.3%、「それ以外の理由」4.0%となっている。

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがない群においては、「制度の対象外」80.9%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」2.4%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」1.0%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」1.2%、「それ以外の理由」3.4%となっている。

〔大阪市24区／こどもの居場所の利用状況別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答

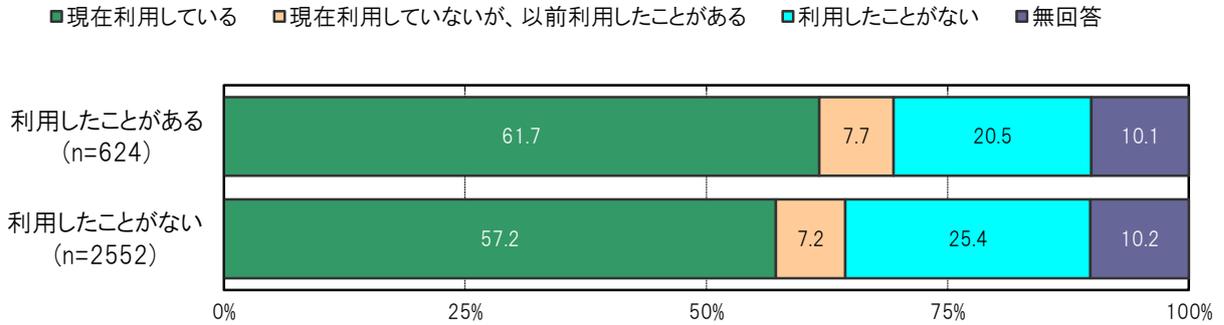


A-170. こどもの居場所の利用状況別にみた支援制度の利用状況／児童扶養手当 [保護者 問24d]

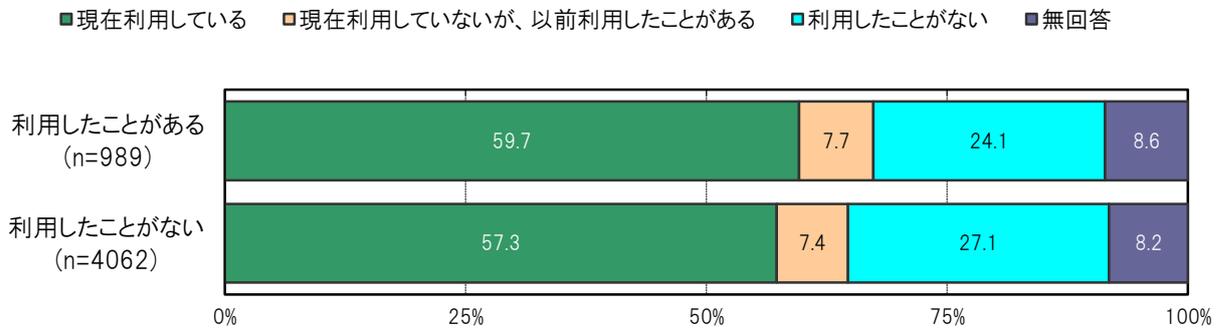
大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがある群においては、「現在利用している」61.7%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」7.7%、「利用したことがない」20.5%、となっている。

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがない群においては、「現在利用している」57.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」7.2%、「利用したことがない」25.4%、となっている。

〔大阪市24区／こどもの居場所の利用状況別〕



〔大阪府／こどもの居場所の利用状況別〕



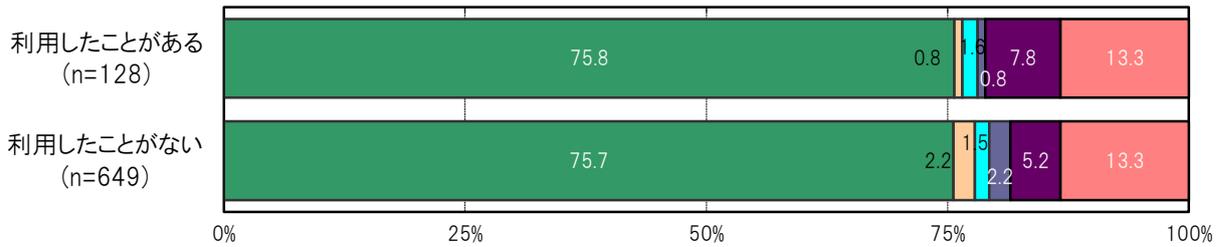
A-171. こどもの居場所の利用状況別にみた支援制度を利用しない理由／
 児童扶養手当 [保護者 問24d] ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがある群においては、「制度の対象外」75.8%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」0.8%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」1.6%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」0.8%、「それ以外の理由」7.8%となっている。

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがない群においては、「制度の対象外」75.7%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」2.2%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」1.5%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」2.2%、「それ以外の理由」5.2%となっている。

〔大阪市24区／こどもの居場所の利用状況別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答

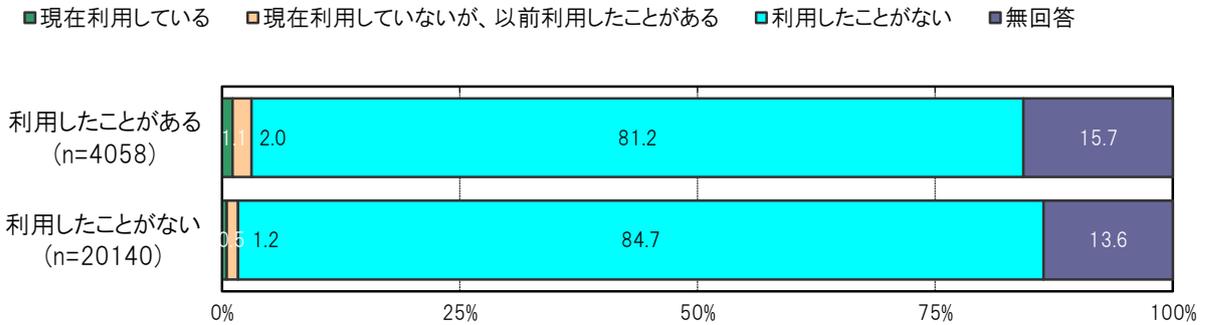


A-172. こどもの居場所の利用状況別に見た支援制度の利用状況／
ひとり親家庭等就業・自立支援センター 【保護者 問24e】

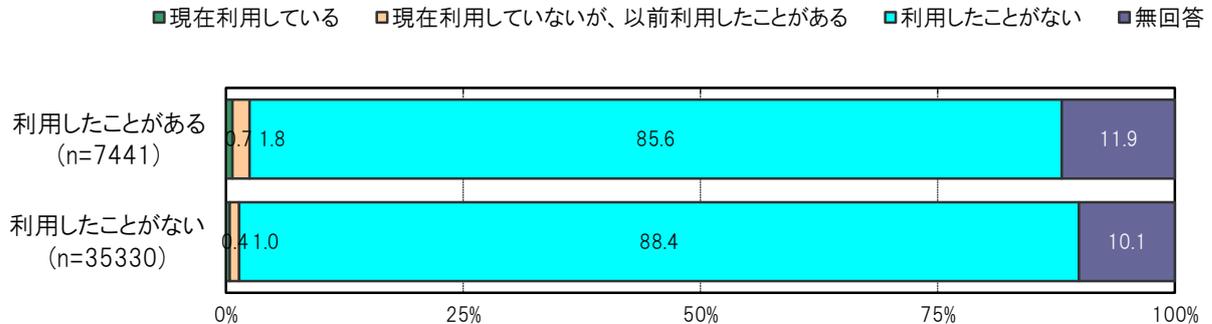
大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがある群においては、「現在利用している」1.1%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」2.0%、「利用したことがない」81.2%、となっている。

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがない群においては、「現在利用している」0.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」1.2%、「利用したことがない」84.7%、となっている。

〔大阪市24区／こどもの居場所の利用状況別〕



〔大阪府／こどもの居場所の利用状況別〕



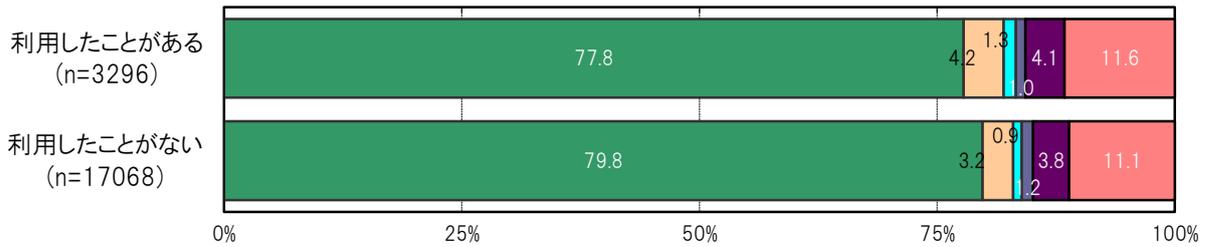
A-173. こどもの居場所の利用状況別にみた支援制度を利用しない理由／
ひとり親家庭等就業・自立支援センター 【保護者 問24e】 ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがある群においては、「制度の対象外」77.8%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」4.2%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」1.3%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」4.1%、「それ以外の理由」11.6%となっている。

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがない群においては、「制度の対象外」79.8%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」3.2%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」0.9%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」3.8%、「それ以外の理由」11.1%となっている。

〔大阪市24区／こどもの居場所の利用状況別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答

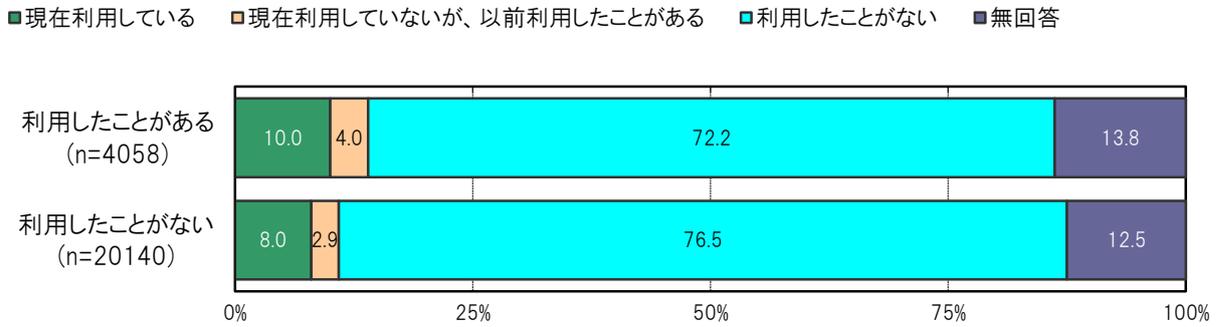


A-174. こどもの居場所の利用状況別に見た支援制度の利用状況／
低所得世帯への世帯生活支援特別給付金 【保護者 問24f】

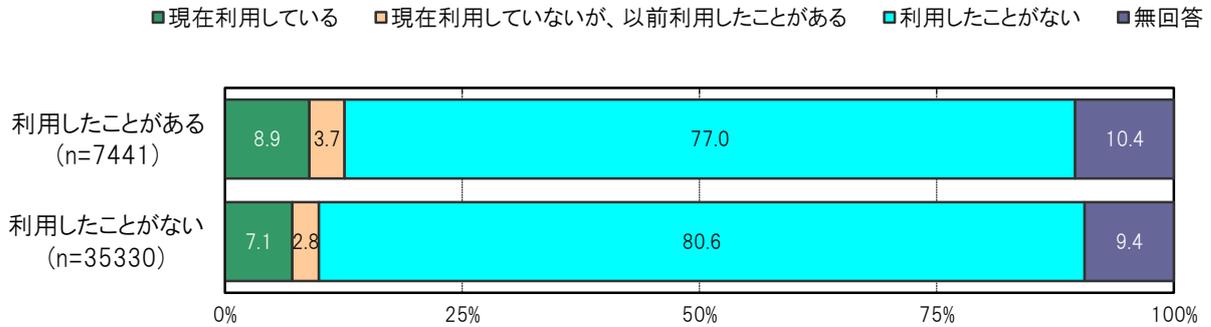
大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがある群においては、「現在利用している」10.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」4.0%、「利用したことがない」72.2%、となっている。

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがない群においては、「現在利用している」8.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」2.9%、「利用したことがない」76.5%、となっている。

〔大阪市24区／こどもの居場所の利用状況別〕



〔大阪府／こどもの居場所の利用状況別〕



A-175. こどもの居場所の利用状況別にみた支援制度を利用しない理由／
低所得世帯への世帯生活支援特別給付金 【保護者 問24f】 ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがある群においては、「制度の対象外」83.9%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」0.8%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」1.3%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」1.1%、「それ以外の理由」2.3%となっている。

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがない群においては、「制度の対象外」84.8%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」0.8%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」1.1%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」1.2%、「それ以外の理由」2.1%となっている。

【大阪市24区／こどもの居場所の利用状況別】

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答

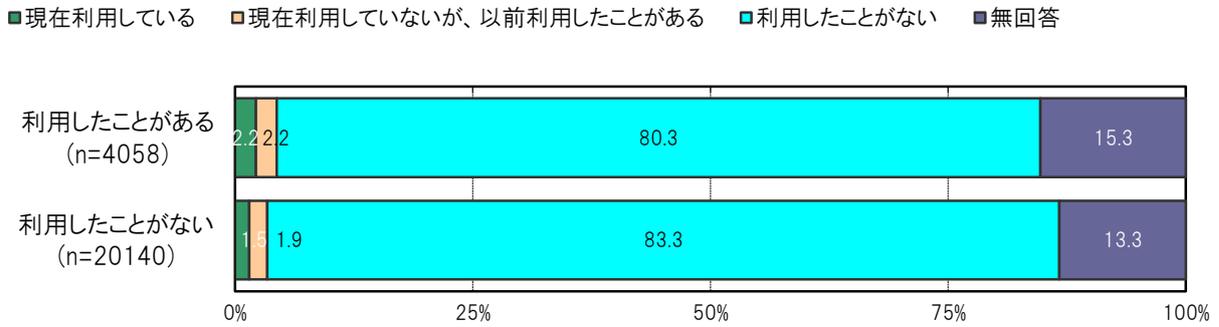


A-176. こどもの居場所の利用状況別に見た支援制度の利用状況／
新型コロナウイルスに伴う生活福祉資金 【保護者 問24g】

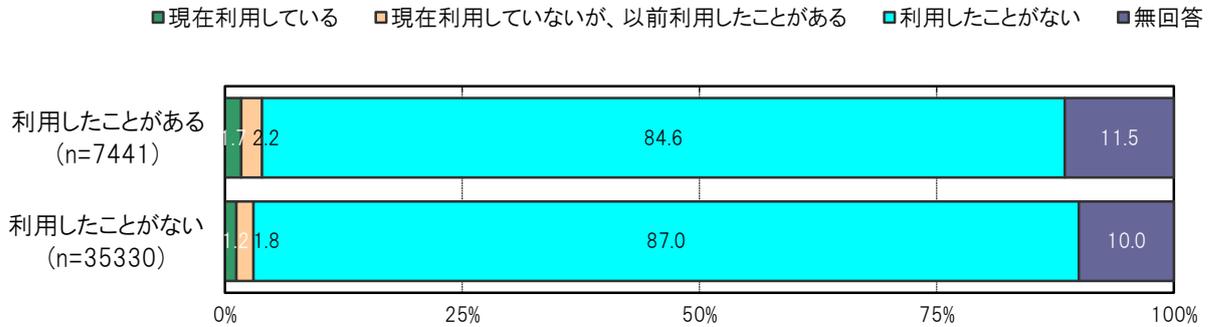
大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがある群においては、「現在利用している」2.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」2.2%、「利用したことがない」80.3%、となっている。

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがない群においては、「現在利用している」1.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」1.9%、「利用したことがない」83.3%、となっている。

〔大阪市24区／こどもの居場所の利用状況別〕



〔大阪府／こどもの居場所の利用状況別〕



A-177. こどもの居場所の利用状況別にみた支援制度を利用しない理由／
 新型コロナウイルスに伴う生活福祉資金 【保護者 問24g】 ※大阪市独自の集計項目

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがある群においては、「制度の対象外」78.0%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」2.9%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」1.8%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」2.0%、「それ以外の理由」4.2%となっている。

大阪市24区の「こどもの居場所」／利用したことがない群においては、「制度の対象外」80.5%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」2.1%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」1.5%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」1.7%、「それ以外の理由」3.7%となっている。

〔大阪市24区／こどもの居場所の利用状況別〕

